

東京農業大学

# 履修のてびき

# 2026

厚木キャンパス 4年次生用

農学部

## 目次

はじめに	2026年度 年間授業計画	2
	2026年度 授業日一覧	3
	大学において学修するための基礎知識	4
	学部・学科等の名称の短縮表示・表示順	7
履修登録	1 履修登録	8
	2 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録	21
各種ツール使い方・マニュアル	3 学生ポータル	30
	4 WebClass	35
	5 教材フォルダ	41
	6 遠隔授業の受講方法	42
	7 Forms の使い方	43
資料	8 履修モデル	44
	9 教室 実験・実習・演習室短縮名称	49
	10 厚木キャンパス教室配置図 講義棟	50
	11 厚木キャンパス教室配置図 第2講義棟・実験実習棟	52
	12 厚木キャンパス校舎等配置図	53

## 2026年度 年間授業計画

(農学部)

月	日 (曜日)	行事予定
2026   4	3日 (金)	入学式
	6日 (月) ~ 10日 (金)	新生ガイダンス・健康診断 在学生ガイダンス・健康診断 新生オリエンテーション 等
	13日 (月)	前学期授業開始 (7/17 まで)
	30日 (木)	【休講日】
5	1日 (金)	【休講日】
	6日 (水)	【授業日】 憲法記念日振替休日
	18日 (月)	【授業日】 大学の記念日
6	6日 (土)	教育後援会教育懇談会
7	17日 (金)	前学期授業終了
	20日 (月) ~ 24日 (金)	前学期定期試験 (7/20 海の日は定期試験を実施)
	27日 (月)	
8	3日 (月) ~ 7日 (金)	夏 追試験 夏季休業 夏季集中授業、各種教育プログラム
	上旬	休 前学期科目の評価開示 教育後援会地域懇談会
9	23日 (水)	
	24日 (木)	後学期授業開始 (1/22 まで)
	30日 (水)	秋季学位記授与式
10	12日 (月)	【授業日】 スポーツの日
	29日 (木)	収穫祭に伴う休講期間 準備 10/29、前夜祭 10/30、収穫祭 10/31・11/1、体育祭 11/2、後片付け 11/3
	31日 (土)	東京農大ホームカミングデー (世田谷キャンパス)
11	3日 (火)	
	23日 (月)	【授業日】 勤労感謝の日
12	22日 (火)	休 冬季休業
2027	11日 (月)	
	12日 (火)	後学期授業再開
	14日 (木)	卒業論文題目届の提出期限 (3年次生)
	15日 (金)	【休講日】
	20日 (水)・21日 (木)	【補講日】
	22日 (金)	後学期授業終了
1	25日 (月) ~ 29日 (金)	後学期定期試験
	29日 (金)	卒業論文の提出期限 (卒業年次生)
	8日 (月) ~ 12日 (金)	追試験 (2/11 建国記念の日は追試験を実施)
2	下旬	後学期科目の評価開示
3	5日 (金)	卒業確定者及び進級確定者の発表
	6日 (土)	学校法人の創立記念日
	21日 (日)	学位記授与式

注：上記スケジュールは予定であり、変更することがあります。変更が生じた場合は、随時、学生ポータルにて周知します。

## 2026 年度 授業日一覧

学期	前学期						
曜日		月	火	水	木	金	
授業日	1	4 月 13 日	4 月 14 日	4 月 15 日	4 月 16 日	4 月 17 日	
	2	4 月 20 日	4 月 21 日	4 月 22 日	4 月 23 日	4 月 24 日	
	3	4 月 27 日	4 月 28 日	※ 5 月 6 日	5 月 7 日	5 月 8 日	
	4	5 月 11 日	5 月 12 日	5 月 13 日	5 月 14 日	5 月 15 日	
	5	※ 5 月 18 日	5 月 19 日	5 月 20 日	5 月 21 日	5 月 22 日	
	6	5 月 25 日	5 月 26 日	5 月 27 日	5 月 28 日	5 月 29 日	
	7	6 月 1 日	6 月 2 日	6 月 3 日	6 月 4 日	6 月 5 日	
	8	6 月 8 日	6 月 9 日	6 月 10 日	6 月 11 日	6 月 12 日	
	9	6 月 15 日	6 月 16 日	6 月 17 日	6 月 18 日	6 月 19 日	
	10	6 月 22 日	6 月 23 日	6 月 24 日	6 月 25 日	6 月 26 日	
	11	6 月 29 日	6 月 30 日	7 月 1 日	7 月 2 日	7 月 3 日	
	12	7 月 6 日	7 月 7 日	7 月 8 日	7 月 9 日	7 月 10 日	
	13	7 月 13 日	7 月 14 日	7 月 15 日	7 月 16 日	7 月 17 日	
	14	遠隔授業 (7/17 までに 2 回分を実施)					
	15						
定期試験		※ 7 月 20 日	7 月 21 日	7 月 22 日	7 月 23 日	7 月 24 日	
追試験		8 月 3 日	8 月 4 日	8 月 5 日	8 月 6 日	8 月 7 日	

※下記の祝日は授業日ですので、注意してください。

5 月 6 日(水) (憲法記念日振替休日)、5 月 18 日(月) (大学の記念日)、7 月 20 日(月) (海の日)

学期	後学期						
曜日		月	火	水	木	金	
授業日	1	9 月 28 日	9 月 29 日	9 月 30 日	9 月 24 日	9 月 25 日	
	2	10 月 5 日	10 月 6 日	10 月 7 日	10 月 1 日	10 月 2 日	
	3	※ 10 月 12 日	10 月 13 日	10 月 14 日	10 月 8 日	10 月 9 日	
	4	10 月 19 日	10 月 20 日	10 月 21 日	10 月 15 日	10 月 16 日	
	5	10 月 26 日	10 月 27 日	10 月 28 日	10 月 22 日	10 月 23 日	
	6	11 月 9 日	11 月 10 日	11 月 4 日	11 月 5 日	11 月 6 日	
	7	11 月 16 日	11 月 17 日	11 月 11 日	11 月 12 日	11 月 13 日	
	8	※ 11 月 23 日	11 月 24 日	11 月 18 日	11 月 19 日	11 月 20 日	
	9	11 月 30 日	12 月 1 日	11 月 25 日	11 月 26 日	11 月 27 日	
	10	12 月 7 日	12 月 8 日	12 月 2 日	12 月 3 日	12 月 4 日	
	11	12 月 14 日	12 月 15 日	12 月 9 日	12 月 10 日	12 月 11 日	
	12	12 月 21 日	1 月 12 日	12 月 16 日	12 月 17 日	12 月 18 日	
	13	1 月 18 日	1 月 19 日	1 月 13 日	1 月 14 日	1 月 22 日	
	14	遠隔授業 (1/22 までに 2 回分を実施)					
	15						
定期試験		1 月 25 日	1 月 26 日	1 月 27 日	1 月 28 日	1 月 29 日	
追試験		2 月 8 日	2 月 9 日	2 月 10 日	※ 2 月 11 日	2 月 12 日	

※下記の祝日は授業日ですので、注意してください。

10 月 12 日(月) (スポーツの日)、11 月 23 日(月) (勤労感謝の日振替休日)、2 月 11 日(木) (建国記念の日)

※ 1 月 20 日(水)・21 日(木) は、補講日です。



# 大学において学修するための 基礎知識

## I 「履修する」ということ

— 所属する学科の課程を学修し修めること —

各学科の課程には、「必修科目（所属する学科で必ず履修しなければならない科目）」とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学修目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学修するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくこととなります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「履修登録」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学修に主体的に取り組んでください。

## II 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1 年を前学期（15 回）と後学期（15 回）の 2 学期に分け、学期ごとに、配当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します（一部科目を除く）。卒業までには、2 学期×4 年＝8 学期あります。卒業までの 4 年間の履修計画を立て、そして年度ごとに修正しながら、各学期の配当科目を学修していくことが大事です。

## III 大学の授業科目は単位制

— 学修時間と単位の関係 —

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、教室における学修時間数と教室以外（授業以外）での学修時間数（予習・復習の時間）の合計で決まります。

2 単位を修得するためには、以下の時間数が必要とされます。

授業科目 1 コマ＝2 時間／週（本学では 90 分）× 15 回

修得のための予習復習時間＝4 時間／週× 15 回

例えば、前学期で 22 単位（11 科目）履修登録した場合、1 週間で授業以外に「4 時間×11＝44 時間」の予習・復習が必要となり、月～土の 6 日間で考えると、1 日平均約 7 時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。そこで本学では、年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています。

※詳細は 10、11 ページ「(4) 履修登録単位数」を参照してください。

# Ⅳ カリキュラム (学修体系) の特長

## —いろいろあるのが本学の特長—

皆さんは、将来の目標があって、それぞれの学科を選び入学してきました。本学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして自信を持って皆さんを社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛り込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

### 1. 科目の区分

#### 【必修科目】

各学科に配当された授業科目のうち、必ず修得しなければならない科目です。必修科目は、必ず履修して合格の成績評価を受けないと卒業できません。

1 つでも不合格だと卒業できません。

#### 【選択必修科目】

各学科に配当された授業科目のうち、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

#### 【選択科目】

各学科に配当された授業科目のうち、皆さんの意思により選択し、卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目です。

より専門性を修得するための科目で、自由に選択できます。

### 2. 学修体系の特長

#### 【総合教育科目・外国語科目・専門教育科目】

本学のカリキュラムは、**総合教育科目・外国語科目・専門教育科目**の3つに大別されます。

※詳細は、「学生生活ハンドブック」の履修編「授業科目の概要」を参照してください。

#### 【英語による専門教育プログラム】

全学部全学科の学生を対象としたプログラムです。

本学の専門的な教育科目を、すべて英語による授業で開講するものです。

グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施するものです。

自分の英語の実力アップを計りながら、自分のレベルに合った科目へ挑戦してください。

#### 【教職課程・学術情報課程】

教員免許状取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。

これらの資格を取得したい学生は、自分で申請して履修手続きをしなければなりません。

# V 履修登録する

— 選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっている —

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さんが、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

## 1. 自分の学修体系を決める

卒業までの 4 年間で総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた計画を立ててください。

→ 在学学生は、学生ポータル、教務掲示「あなたの履修」をもとに、自分の学修体系を再確認してください。前年度までの学習計画を再検討する良い機会でもあり、さらに方向修正もできます。

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基礎・教養 専門基礎	知識・技術の習得 応用、専門基礎	研究テーマ設定 専門分野の研究	卒業論文作成 就職・進学に向けた活動
3 年次からの研究に向けて基礎を身につけ、 自分の興味・関心を絞り込む		研究室に所属し、 研究スタート	卒業論文の作成 就職活動、進学準備

## 2. 科目名をチェック⇒科目名で大体の内容をイメージ

## 3. シラバス（講義要項）をチェック⇒科目の講義内容を確認

科目名だけでは、実際の細かな講義内容はわかりません。シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が記載されていますので、活用してください。

## 4. 履修登録⇒履修登録期間を確認

前学期の履修登録期間・履修修正期間に、後学期の開講科目を含めて、1 年間分の科目を履修登録します。

**後学期の履修登録期間・履修修正期間では、後学期科目のみ追加・削除・変更が可能です。**

夏季集中科目と冬季集中科目も、履修登録期間・履修修正期間のみ履修登録が可能です。

履修登録にあたっての注意事項を、12 ページ以降に記載していますのでよく確認してください。

**【重要】履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。**

**忘れず、また間違いのないよう慎重に登録してください。**

# VI 学生の皆さんへの注意事項

— 自分のことは自分で、責任を持って —

1. 配付した書類は熟読してください。
2. 学生ポータルを確認する習慣をつけてください。
3. 期限は厳守してください。**(期限後は受け付けません)**
4. 学生教務課窓口の業務時間【平日（授業期間）】8：30～17：00 **(時間外は受け付けません)**

# 学部・学科等の名称の 短縮表示・表示順について

本学では、学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示などの順番も原則として次のように行います。

学部・学科等名称	短縮表示
<b>農学部</b>	農学部
農学科	農学
動物科学科	動物
生物資源開発学科	資源
デザイン農学科	デザイン
<b>応用生物科学部</b>	応生学部
農芸化学科	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
<b>生命科学部</b>	生命学部
バイオサイエンス学科	バイオ
分子生命化学科	生化
分子微生物学科	微生物

学部・学科等名称	短縮表示
<b>地域環境科学部</b>	地域学部
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
地域創成科学科	創成
<b>国際食料情報学部</b>	国際学部
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
アグリビジネス学科	ビジネス
国際食農科学科	食農
<b>英語による 専門教育プログラム</b>	英語専門
<b>全学共通科目</b>	全学共通
<b>教職課程</b>	教職
<b>学術情報課程</b>	学情

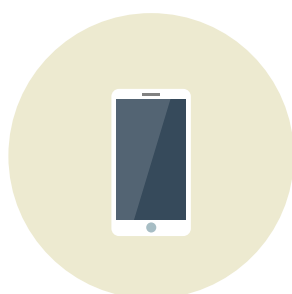
# 1 履修登録

## (1) 履修登録の始め方

### 履修登録スタート



インターネットに接続できる端末を用意します



下の5つの資料を使用し、履修計画を立てて、登録します

#### 学生ポータル

履修登録画面

シラバス

時間割表

#### 大学Webサイト

履修のてびき (このPDF)

学生生活ハンドブック 「授業科目配当表」

### 4年間のバランスを考えて計画的に履修しよう！

この科目は来年度で…  
間に選択科目  
を入れようかな



必修はコレで…

この科目  
興味あるな



	月曜	火曜
1限	英語(一)A	
2限		日本国憲法
3限		生物学

## (2) 履修登録の流れ

手順	前学期	後学期	詳細・備考
ガイダンス 履修計画	4 月上旬		ガイダンスの内容や、資料を参考に履修計画を立ててください
授業開始	4 月 13 日	9 月 24 日	履修登録に沿って授業に出席してください (履修確定前の授業も出席してください)
履修登録期間	4 月 13 日 ) 4 月 17 日	9 月 14 日 ) 9 月 17 日	<b>履修登録前に学生ポータルでの「住所等の登録」が必須です</b> 履修登録の方法 (22 ページ) の手順に沿って登録してください (履修確定前の授業も出席してください)
履修開示①	4 月 22 日	9 月 25 日	学生ポータル「あなたの履修」にて正しく登録されているか必ず確認してください
履修修正期間	4 月 23 日 ) 4 月 27 日	9 月 28 日 ) 10 月 1 日	履修登録の方法に従い学生ポータル「履修登録 (修正)」から履修修正してください
履修開示②	5 月 8 日	10 月 6 日	学生ポータル「あなたの履修」にて履修修正が反映されているか必ず確認してください

日程変更が生じた場合は、学生ポータルでお知らせします。

**全学生が必ず各自で履修登録し、登録内容を確認してください。**

※当該学年の必修科目のみを履修する場合も必ず確認してください。

次ページ以降に登録にあたっての重要な詳細を記載していますのでよく確認して、[22 ページ](#) [履修登録の方法] の手順に従って登録してください。

## (3) 履修登録の基礎知識

### ① 履修計画

#### ◇学科のカリキュラム・科目を知る⇒「授業科目配当表」

各自の入学年度の「学生生活ハンドブック」の「授業科目配当表」で該当学科のページを参照してください。学科ごとに定められたカリキュラムに沿って 4 年間に開講される科目と卒業要件単位数を表で示しています。なお 2026 年度時点では 2024 年度以降の入学生に適用される新カリキュラムと 2023 年度以前の入学生に適用される旧カリキュラムの両方が運用されており、履修できる科目や内容も異なるため注意が必要です。

#### ◇時間割を知る ⇒ 「時間割表」

時間割は各科目の授業を実施する学期、曜日、時限、教室、担当者名などの情報を一覧にした表です。学生ポータルのメインメニュー「教務掲示」から「時間割表」を開くと学部・学科、全学科目、教職課程科目、学術情報課程科目の時間割を PDF で閲覧することができます。集中科目の日程、時間、場所などの情報も、「時間割表」で確認することができます。

#### ◇科目の内容を知る ⇒ 「シラバス」(講義要項)

学生ポータルのメインメニュー「シラバス」のプルダウンメニューから検索方法を選んで開きます。履修したい科目を検索して、授業の概要、到達目標、各回の進行、評価の方法などの詳細を閲覧することができます。

## ② 履修のための基本知識

履修登録のために必要な以下の主なキーワードを理解しておきましょう。

キーワード (例)	説明
開講番号・履修番号 (A0000)	アルファベット+数字 4 ケタ 科目ごとに設定された管理番号です。同じ科目名でも他学科の科目などを見分けるためにも用います。 アルファベットの S = 世田谷キャンパスの開講科目、A = 厚木キャンパスの開講科目です。K = クラス分けが決定していない必修科目を自動登録している仮履修番号です。クラスが決まり次第、正規履修番号と入れ替えます。
科目名 (一)・(二)	科目名+ (漢数字) [例「生化学 (一)」] などの漢数字はその科目が別内容の科目であることを表しています。科目によっては数が大きいほどレベルが高いことを示している場合もあります。
科目名+ (学部・学科短縮表示)	科目名+ (学部・学科短縮表示) [例「生物学 (農学)」] は学部・学科を指定している科目です。( ) 内の学部・学科の所属学生以外は履修できません。 ※学部・学科短縮表示一覧：7 ページ参照
科目名 A クラス・B クラス	科目名+アルファベットクラス [例「数学演習 A クラス」] はクラス分けをしている科目です。各自の時間割に合わせてクラスを選択できます。ただし、クラスを指定する科目が、一部あります。
集中科目	曜日・時限を固定した科目とは異なるスケジュールで実施する科目を指しています。前学期集中、後学期集中、通年集中の 3 種類あります。学期開始時に日程や詳細が決まっていない科目もあるので履修登録には注意が必要です。
カリキュラム (教育課程)	各学科ごとに設定されており、それに沿って 4 年間で開講する科目と卒業要件単位数を「授業科目配当表」として示しています。なお 2026 年度時点では 2024 年度以降の入学生に適用される新カリキュラムと 2023 年度以前の入学生に適用される旧カリキュラムの両方が運用されており、履修できる科目や内容も異なるため注意が必要です。
シラバス (講義要項)	各科目で行う授業の概要、到達目標、各回の進行、評価の方法などの詳細を示したもので、本学では学生ポータルで検索・閲覧できるようになっています。
ステップ制	科目の (一) (二) 数の順序に従い単位修得する科目です。 (一) の単位を修得しなければ (二) を履修することはできません。 ※一部科目を除く。詳細は、P15 「ステップ制のある科目」を参照。
科目ナンバリング	ナンバリングとは、授業科目に採番ルールに基づく番号を付し、学修内容の順次性や科目間の関連性を示すことで、教育課程 (カリキュラム) の体系的性を明確にするとともに、学生に目的意識及び計画性を持って学修させることを目的とします。 シラバスに科目ナンバリングを記載しています。 ※科目ナンバリングの採番ルール等については学生ポータルのキャビネットから確認できます。

## (4) 履修登録単位数

## ① 履修登録単位数の制限 (キャップ制)

学期ごと及び 1 年間に履修できる単位数は制限されています。これをキャップ制といいます。

上限を超えて登録した場合は、エラーが表示されるので、超えた単位数に応じて科目を削除してください。

**履修上限は、学期ごとに 22 単位まで・年間 44 単位までです。**

※リメディアル科目、教職課程・学術情報課程科目、東京情報大学との協定に基づく履修科目は制限の対象外とします。

② 履修登録単位数のカウント方法

以下のようにカウントします。

- ◇前学期科目……前学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇後学期科目……後学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇通年科目……単位数の 1/2 を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。  
※通年で 1 単位の科目は、前期 0.5 単位・後期 0.5 単位とカウントします。
- ◇集中科目……前学期、後学期、通年問わず、年間の単位数としてカウントします。

例)


前学期・後学期も上限まで履修			
Aさん	前学期：22 単位	後学期：22 単位	年間：44 単位
通年 2 単位の科目を履修…単位数の 1/2 を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウント			
Bさん	前学期：22 単位 (通年科目：1 単位)	後学期：21 単位 (通年科目：1 単位)	年間：43 単位 (通年科目：2 単位)
通年 1 単位の科目を履修…単位数の 1/2 を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウント			
Cさん	前学期：21.5 単位 (通年科目：0.5 単位)	後学期：21.5 単位 (通年科目：0.5 単位)	年間：43 単位 (通年科目：1 単位)
集中 2 単位の科目を 2 科目履修…学期を問わず年間の単位数としてカウント			
Dさん	前学期：20 単位 (集中科目：0 単位)	後学期：20 単位 (集中科目：0 単位)	年間：44 単位 (集中科目：4 単位)

③ 必修科目自動登録単位数一覧表

学科	学期	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
農 学	前 学 期	20 / 22	6 / 22	6 / 22	6 / 22
	後 学 期	14 / 22	4 / 22	6 / 22	6 / 22
	年 間	34 / 44	10 / 44	12 / 44	12 / 44
動 物	前 学 期	18 / 22	13 / 22	1 / 22	3 / 22
	後 学 期	10 / 22	5 / 22	1 / 22	3 / 22
	年 間	28 / 44	18 / 44	2 / 44	6 / 44
資 源	前 学 期	14 / 22	16 / 22	6 / 22	6 / 22
	後 学 期	10 / 22	4 / 22	6 / 22	6 / 22
	年 間	24 / 44	20 / 44	12 / 44	12 / 44
デ ザ イン	前 学 期	14 / 22	13 / 22	5 / 22	5 / 22
	後 学 期	12 / 22	13 / 22	3 / 22	5 / 22
	年 間	26 / 44	26 / 44	8 / 44	10 / 44

- この表は自動登録してある必修科目の単位数を表示しています。
- この単位数を確認し履修登録単位数制限以内で履修登録を行ってください。
- 次の学生は、自動登録されないのので、必修科目についても履修番号を登録してください。  
**原級・留年・再入学・編入学・学士編入学・転入学・転学部及び転学科した者。必修科目を再履修する者。**
- 前年度までに履修登録した他学部・他学科科目及び大学間履修の登録総単位数を成績台帳で確認して上限を超えて登録しないよう注意してください。
- 自動登録された必修科目は、絶対に削除しないでください。

## (5) 履修登録上の注意事項


 <b>履修登録上の注意事項</b>		気を付けよう！ よくある失敗・注意点
必修科目の自動登録	通常に進級	在籍学年の必修科目は自動登録されます。(自分で登録する必要はありません) 自動登録された必修科目は、絶対に削除しないでください。
	<b>原級・留年・再入学・転学部・ 転学科・転入学及び編入学・ 学士編入学した者</b>	<b>卒業まで自動登録されません。</b> 各自で履修登録してください。
	<b>必修科目を再履修する場合</b>	<b>自動登録されません。</b> 各自で履修登録してください。
同一時間に 隔週で開講する科目	同一時間に履修登録	
2時限以上 開講の科目	授業開始時限のみ履修登録	
通年開講科目	前学期履修登録期間に 履修登録	後学期の履修登録期間には、通年開講科目の登録削除はできません。
集中開講科目	開講学期に合わせて履修登録	同日程に開講している集中開講科目は履修登録しないでください。
上級学年の配当科目	× 履修不可	自分の学年または下級学年の科目のみ履修できます。 (他学科・他学部聴講の場合も同様) 例) 履修希望者が現在2年生の場合 1年次・2年次配当科目 ○ 3年次・4年次配当科目 ×
後学期の履修登録期間	前学期科目 × 通年・前学期集中科目 × 後学期科目 ○ 後学期集中科目 ○	後学期の履修登録期間には前学期科目(通年・前学期集中科目を含む)の登録・削除はできません。
開講学期の変更	学生生活ハンドブックの「授業科目配当表」から開講学期が変更となることがあるので注意してください。時間割表に沿って登録してください。	

## (6) 科目ごとの制限、条件、登録方法等

## 特別講義 / データサイエンス基礎

授業内容は可能な限り農業に関する親しみやすい事例を取り入れることにより、解りやすい実習、ワークショップを通じて、AI時代における実学主義を涵養します。

富士通株式会社との包括連携協定に基づく人材交流によって、実践的かつ本学の専門性に沿った講義を複数回設定し、データサイエンスの活用イメージが湧く授業内容を取り入れます。

履修登録	対象	全学部	
	条件	「情報基礎（一）」と「情報基礎（二）」の単位を修得していれば学年を問わず履修可	
実施方法	遠隔授業（オンデマンド、ライブ）は Web カメラ、イヤホン（ヘッドホン）、マイクが必要です。		
授業概要	大学ホームページ 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム <a href="https://www.nodai.ac.jp/datascience/">https://www.nodai.ac.jp/datascience/</a>		
	データサイエンス基礎授業ポータル <a href="https://nodaiweb.university.jp/datascience/">https://nodaiweb.university.jp/datascience/</a>		
構成する科目と 修了要件単位数	学生生活ハンドブック 168 ページ		
関連科目一覧	学生生活ハンドブック 168 ページ		

## スポーツ・レクリエーション（一）・（二）

## 履修登録の手順

## ① シラバス・時間割確認

授業実施方法、実施種目などをシラバスで確認し、自分の所属学科の曜日時限等を把握しておいてください。

② 第1回目授業の受講  
(クラス分け)

自学科の**前学期の第1回目**の授業を受講し、クラス分けを受けてください。後学期の（二）のみ登録する場合も同様です。

第1回目の授業に出席しなければ、履修登録はできません。

なお、第1回目の授業では運動は行いません。

(服装：私服、体育館シューズ着用、集合：体育館)



## ③ クラス決定

第1回目の授業終了後、クラス分け結果を掲出します。(学生ポータル→キャビネット)

自分のクラスを確認し、第2回目以降の授業に出席してください。



## ④ 履修登録

クラス分けの結果に従って、履修登録修正期間に登録してください。



## ⑤ 教科書購入

履修できることが確定した後に購入してください。

※共通クラス（木曜5限）は、1～4限の授業を履修できない学生（定員オーバー・同時限開講の必修科目とリメディアル科目を履修しなければならないなど）のための授業です。1年生はまず自分の学科に割り当てられた時限に出席してください。2年生以上の学生は他学科のクラスでも履修可能ですが、必ず希望するクラスの第1回目の授業に出席してください。

## 特別講義

- ① 「特別講義」は厚木キャンパスで1コース、世田谷キャンパスで複数コースを開講します。在学中4コースまで履修し単位を修得することができます。(特別講義(一)・特別講義(二)・特別講義(三)・特別講義(四))
- ② 開講曜日・時限が異なれば1年間に2コース以上の履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。
- ③ 年度ごとに開講曜日、時限、担当者、コース内容は変更されます(同じ場合もあります)。
- ④ はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義(一)」を履修登録してください。前年度までに特別講義の単位を修得し、今年度も履修する場合は順次(二)・(三)・(四)を履修登録してください。

### 2026年度 厚木キャンパス「特別講義」について

学期	曜日	時限	履修番号	科目名	履修単位	評価責任者
前学期	水曜日	5-6	A1060	特別講義(一)	2	多田耕太郎
			A1061	特別講義(二)		
			A1062	特別講義(三)		
			A1063	特別講義(四)		

日程	講義テーマ	講師	教室			
			農学	動物	資源	デザイン
4月15日	日本における廃棄物系バイオマスの利活用	平野 繁	トリニティー	1102	1103	トリニティー
4月22日	アイデアで動物福祉世界トップレベルを目指すアニドネチャレンジ	西平 衣里	1102	トリニティー	トリニティー	1103
5月6日	光の不思議！ 農業における光利用の可能性	雨木 若慶	トリニティー	1102	1103	トリニティー
5月13日	好きなことで生きるのは、意外といける	斎藤 信実	トリニティー	1102	1103	トリニティー
5月20日	農業生産と生物多様性の複雑な関係を真面目にきちんと考える	深野 祐也	1102	トリニティー	トリニティー	1103
5月27日	実学研究とは ～学術研究から基礎・応用・現場実装へ～	松本 和也	1102	トリニティー	トリニティー	1103
6月3日	醸造酢について	塚本やよい	トリニティー	1102	1103	トリニティー
6月10日	種苗メーカーにおける育種の現状(チンゲンサイの品種育成と開発を例として)、 求められる人材について(仮)	小澤 一寛	1102	トリニティー	トリニティー	1103
6月17日	おコメの話～多様なイネ栽培技術～	上地 由朗	トリニティー	1102	1103	トリニティー
6月24日	経済の礎は農業にあり	吉本 元	1102	トリニティー	トリニティー	1103
7月1日	健康状態の予測・予防について ～最新のがん研究から肥満、障害まで～	大塚 蔵嵩	トリニティー	1102	1103	トリニティー
7月8日	Y染色体を消失した哺乳類の性決定メカニズム	黒岩 麻里	1102	トリニティー	トリニティー	1103
7月15日	予備日					

### 「東京農業大学 STEAM 教育講座」について

学期	曜日	時限	履修番号	科目名	履修単位	評価責任者
通年	水曜日	5-6	S3604	特別講義(一)	2	上岡 美保
			S3605	特別講義(二)		
			S3606	特別講義(三)		
			S3607	特別講義(四)		

#### 【開講目的】

今日、わが国の目指す社会像として、ウェルビーイングの実現や社会的分断の改善、国際的視野に基づいたSDGsへの貢献、そして全世代における学習社会の構築などのことが挙げられている。その実現のために高等教育における人材育成としては、自分の興味関心を追究しながら高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定し、その解決を多角的に、多様な人材とコミュニケーションをとりながら、新たな価値やビジョンを創造していく人材が求められている。そのための手段として、文理融合の学びや探究学習、STEAM教育の強化が重視されている。本講義では、特にSTEAM教育(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)に視点を置き、社会課題に対するSTEAMの事例をあげながら、身近な話題を総合農学の視点から紐解いていく。

## 英語科目 / 基盤英語科目・実用英語科目

クラス分け	英語 (一)、(二)	年始めのガイダンス期間に実施するクラス分け試験の結果により履修クラスを決定。
	英語 (三)、(四)	1年次の2月に実施する英語到達度試験の結果、履修クラスを決定。
	▲前学期・後学期開講問わず、クラス分けに関わる試験を受験しない場合、原則履修できません。	
再履修者	必ずクラス分け試験を受験してください。クラス変更は認めません。 自分で履修を削除した場合でも、再度履修する際にはクラス分け試験を受験する必要があります。	
他学部・他学科履修	外国語科目の基盤英語科目・実用英語科目は不可 ×	

## 中国語 (一) (二)・スペイン語 (一) (二) / 初修外国語科目

複数の語学	選択 ×
	中国語、スペイン語のいずれかを選択して履修してください。 ※過去の単位修得の有無に関わらず、どちらの科目を履修している場合、もう一方の科目を履修することはできません。
ステップ制	科目の (一) → (二) の順序に従い単位修得をしてください。

## ステップ制のある科目

履修方法	科目の (一) → (二) → (三) → (四) の順序に従い単位修得する科目です。
	例えば、(一) の単位を修得しなければ (二) を履修することはできません。
中国語 (一) (二) スペイン語 (一) (二)	上の表「中国語 (一) (二)・スペイン語 (一) (二)」を参照

### 英語による専門教育プログラム ※学生生活ハンドブック「英語による専門教育プログラム関係科目」参照

履修の すすめ	日本人の学生はもとより海外からの留学生に対して、日本および世界の食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、開講している科目です。グローバル化時代において、自分の専門分野を幅広い視点で学ぶことができ、また留学生や海外協定校学生とともに英語で学ぶ科目も多数開講しています。将来を通じた自分のキャリア・ステップを考慮に入れて、受講されることを強くお勧めします。
修得 単位	本科目は学則第 15 条の 3 で定めるとおり、他学部・他学科において修得することができる各学部各学科に定める単位数と合わせて 30 単位以内を修得することができます。かつ、これを卒業要件に加えることができます。
科目ガイドライン	グローバル教育科目を選ぶ際の参考資料です。表にまとめて 20 ページに掲載しています。

### 日本語教育科目 ※学生生活ハンドブック「全学共通科目（日本語）」参照

対象	外国人留学生・帰国生
修得単位	本科目は学則第 15 条の 3 で定めるとおり、他学部・他学科において修得することができる各学部各学科に定める単位数と合わせて 30 単位以内を修得することができます。ただし、卒業要件に加えることができる単位数は 16 単位を上限とします。

### リメディアル科目

対象者	年度当初に受講対象に決定した学生 ※対象学生は必ず受講しなければなりません。
履修登録	指定の科目を自動登録しますので各自での登録は不要です。他学部・他学科の科目の履修は不可。
修得単位	<b>卒業要件や GPA には含まれません。</b>

## 共通演習・農業実習（一）（二）

### クラス分け

農学部全体でクラス分けを行います。詳細については説明会および配付資料を参照してください。

## 学科指定・クラス分けのある授業科目


学部・学科指定クラス	科目名（学部・学科名）	自分の所属学科のクラスを履修登録してください。
学籍番号順クラス	科目名+アルファベットクラス	学生ポータルに掲出する「クラス分け表」から自分の所属するクラスを確認してください。
事前決定クラス	科目名+アルファベットクラス	クラス分けテスト等によって決定したクラスを履修登録してください。
指定なしのクラス	科目名+アルファベットクラス	自分の時間割に合わせて自由にクラスを選択し履修登録をしてください。
教職・学術情報課程 科目のクラス	教職・学術情報課程科目名 + 学部・学科指定のないアルファ ベットクラス	自分の時間割に合わせて自由に選択できます。学部・学科指定がある科目は自分の所属するクラスを履修登録してください。 ※クラスは科目名と分けて表記している場合があります

## 他学部・他学科科目

上級学年の担当科目の履修	× 履修不可	例) 履修希望者が現在2年生の場合 1年次・2年次担当科目 ○ 3年次・4年次担当科目 ×
履修登録単位の上限	在学中合計 30 単位	合否にかかわらず、履修登録が確定した時点で単位数がカウントされます
対象外の科目	実験・実習・演習（研修を含む）科目	開発「海外農業実習（一）（二）（三）」を除く
	各学部の総合教育科目	スポーツ関係科目を除く
	各学部の外国語科目	初修外国語科目を除く
	一部の学部または学科開講科目	時間割表に★または☆マークを表示 ★：他学部・他学科履修不可 ☆：他学部履修不可

## 同名科目

複数の学部・学科で開講している同名の授業科目一覧です。以下の点に注意してください。

	× 所属学科（担当学年を問わず）にある科目と同名の他学部・他学科科目の履修 例) バイオの学生：微生物の「応用微生物学」× 理由：バイオ3年次に「応用微生物学」が開講されるため
	× 既に単位修得している場合の再度の履修

表にまとめて18～19ページに掲載しています。

同名科目一覧 (1/2 ページ)

科目名	学部	学科	学年
中国語 (一)	農学部	学科学部共通	2 年
	応生学部	学科学部共通	1 年
	生命学部	学科学部共通	1 年
	地域学部	学科学部共通	1 年
	国際学部	学科学部共通	1 年
中国語 (二)	農学部	学科学部共通	2 年
	応生学部	学科学部共通	1 年
	生命学部	学科学部共通	1 年
	地域学部	学科学部共通	1 年
	国際学部	学科学部共通	1 年
スペイン語 (一)	農学部	学科学部共通	2 年
	応生学部	学科学部共通	1 年
	生命学部	学科学部共通	1 年
	国際学部	学科学部共通	1 年
スペイン語 (二)	農学部	学科学部共通	2 年
	応生学部	学科学部共通	1 年
	生命学部	学科学部共通	1 年
	国際学部	学科学部共通	1 年
化学	農学部	全学科	1 年
	応生学部	全学科	1 年
	生命学部	全学科	1 年
	地域学部	全学科	1 年
	国際学部	全学科	1 年
科学と哲学	農学部	全学科	2 年
	応生学部	全学科	1 年
	生命学部	全学科	1 年
環境科学	農学部	全学科	3 年
	応生学部	全学科	3 年
心理学概論	農学部	全学科	1 年
経済入門	農学部	全学科	2 年
	応生学部	全学科	2 年
	生命学部	全学科	1 年
芸術	農学部	全学科	2 年
現代社会の諸問題	農学部	全学科	2 年
国際関係を考える	農学部	全学科	2 年
数学	農学部	全学科	1 年
	生命学部	バイオ	1 年
	生命学部	微生物	1 年
	地域学部	工学	1 年
	国際学部	全学科	1 年
文化人類学	農学部	全学科	2 年
	国際学部	全学科	1 年
機器分析学	農学部	資源	3 年
	生命学部	生化	3 年
	生命学部	微生物	3 年

科目名	学部	学科	学年
昆虫学	農学部	農学	2 年
	農学部	資源	2 年
自然再生技術論	農学部	全学科	3 年
実験計画法	農学部	農学	3 年
	農学部	デザイン	2 年
実験動物学	農学部	動物	1 年
	応生学部	化学	4 年
植物育種学	農学部	農学	2 年
	農学部	資源	4 年
	国際学部	食農	3 年
植物栄養学	農学部	全学科	2 年
植物生長調節論	農学部	全学科	3 年
植物生理生態学	農学部	全学科	2 年
植物病理学	農学部	農学	1 年
	農学部	資源	1 年
	応生学部	化学	3 年
	生命学部	微生物	2 年
植物防疫論	農学部	農学	3 年
	農学部	資源	3 年
	農学部	デザイン	3 年
食品衛生学	応生学部	化学	3 年
	応生学部	栄養	2 年
	生命学部	バイオ	3 年
食品化学	国際学部	食農	2 年
	農学部	デザイン	2 年
	応生学部	醸造	3 年
	応生学部	健康	1 年
食品機能学	生命学部	バイオ	2 年
	農学部	デザイン	3 年
	応生学部	醸造	3 年
	応生学部	健康	3 年
生物学	応生学部	栄養	3 年
	国際学部	食農	3 年
	農学部	全学科	1 年
	応生学部	全学科	1 年
生命科学	生命学部	全学科	1 年
	地域学部	全学科	1 年
	国際学部	全学科	1 年
	農学部	全学科	3 年
生命倫理	応生学部	全学科	3 年
	農学部	全学科	2 年
生命倫理	応生学部	全学科	1 年
	生命学部	全学科	1 年

## 同名科目一覧 (2/2 ページ)

科目名	学部	学科	学年	科目名	学部	学科	学年	
地学	農学部	全学科	2年	生物統計学	農学部	動物	2年	
	応生学部	全学科	1年		応生学部	健康	3年	
	生命学部	全学科	1年		生命学部	全学科	1年	
	地域学部	全学科	1年	知的財産論	農学部	全学科	3年	
	国際学部	全学科	2年		土壌学	農学部	農学	1年
動植物園論	農学部	全学科	3年	農学部		資源	1年	
	日本国憲法	農学部	全学科	2年		応生学部	化学	2年
応生学部		全学科	2年	動物解剖学	農学部	動物	1年	
生命学部		全学科	2年		農学部	資源	2年	
地域学部		全学科	2年		農学部	デザイン	2年	
国際学部		全学科	1年	動物管理学	農学部	動物	1年	
農学原論	農学部	全学科	1年		農学部	資源	1年	
農業インターンシップ (一)	農学部	全学科	1年		農学部	デザイン	1年	
農業インターンシップ (二)	農学部	全学科	1年	農業気象学	農学部	全学科	2年	
物理学	農学部	全学科	1年	農業経営学	農学部	農学	2年	
	応生学部	全学科	1年		農学部	動物	3年	
	生命学部	全学科	1年		農学部	資源	3年	
	地域学部	全学科	1年		農学部	デザイン	3年	
	国際学部	全学科	1年		国際学部	開発	2年	
食品微生物学	農学部	デザイン	3年		国際学部	経済	2年	
	応生学部	醸造	1年		国際学部	食農	3年	
生化学	農学部	全学科	2年		農産物マーケティング論	農学部	全学科	3年
	応生学部	健康	1年		分子生物学	農学部	全学科	3年
	生命学部	バイオ	1年	応生学部		化学	2年	
	生命学部	生化	3年	応生学部		健康	3年	

## 2026 年度 英語による専門教育プログラム ガイドライン一覧 (旧カリ)

科目名	項目	開講キャンパス	主な履修対象者	履修者に求める英語能力※1	難易度	履修者に求める専門性	備 考
Introduction to Japanese Linguistics / 旧カリ: Edo Aesthetics and Environmental Resiliency		世田谷	全学生		中級	日本語や英語、もしくは言語一般に興味があればよい	英語で問題に回答したり、自分の分析を説明したりすることが求められる。学習意欲があれば、英語の習熟率に関わらず受入予定であるが、授業内容の理解には相当の努力を要する。
Environment and Agriculture		世田谷	全学生	初級	初級	—	
Agriculture and Economic Development / 旧カリ: Food and Environment in Economic Development		世田谷	日本人学生、外国人留学生、visiting student、協力隊希望者	中級	中級	—	英語でのプレゼンテーション・ディスカッションが必須(全員)である。
Food and Health 1		世田谷	外国人留学生、visiting student、日本人学生	中級	中級	食品、発酵および健康に興味を持ち、ある程度の専門用語を理解できること。	毎回、異なるテーマに焦点を当てたオムニバスの講義で知識を広げる。
Forest and Forestry		世田谷	全学生	英語能力よりも学ぼうとする姿勢を重視	初級	森林、樹木に関心があること	森林、樹木に関心のある学生。※学部学科を問わない。
Global Food Systems		世田谷	全学生	初級	初級～中級	一般常識と知的好奇心があれば問題ない	
Plants for Landscape Architecture / 旧カリ: Life History and Applications of Landscape Plants		世田谷	全学生	中級	中級	植物学に興味があること	現地見学を行う(休日)
Planning and Design of Landscape Architecture		世田谷	外国人留学生、visiting student	中級	中級	日本の自然環境や文化	休日を活用して現地見学を数回、実施する。大人数の引率は困難である。
Agro-Environmental Engineering		世田谷	全学生	初級	初級	—	
Comparative Developing Agriculture		世田谷	全学生	中級以上(英語でディスカッションできるレベル)	中級	国内外の農業・環境・社会・経済に興味を持つこと	英語での個別プレゼンテーションやグループディスカッションがある
Ecology and Agricultural Production		厚木	全学生	中級以上	中級	学部2年時までの必修専門科目の単位をすべて修得していること	専門的な教育を英語で施すため、ある水準以上の英語力と農学の基本的な知識を必要とする。
Agroecology and Food Production / 旧カリ: Ecology and Food Production		世田谷	全学生	中級以上 英語の専門テキストが無理なく理解でき、英語でディスカッションできるレベル	中級	農業生産、食品、社会・文化・経済にわたる全般的な基礎知識	
Food and Health 2		世田谷	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級以上	中級～上級	食品と健康に興味があり、ある程度の専門用語を理解できること	担当教員が1-2コマずつ授業を担当し、英語でのプレゼンテーション(発表)が多い授業である。
Group Approach to Food and Environment		世田谷	日本人学生、外国人留学生	上級	中級～上級	海外協定校の学生と英語でのディスカッションを行うための英語力と論理力を持つものとする	6月下旬に開催される「食と農と環境を考える世界学生サミット」に座長または発表者として参加することが条件である。
Field Study of Food and Environment		世田谷	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農林水産業、農業と自然のコンフリクト、アグロエコロジーに興味を持つものとする	集中開講される「国際体験学修プログラム(CIEP)」に参加することが条件である。 (約1週間の宿泊を伴うプログラム。参加費(航空券、宿泊費等)は自己負担)
Sustainable Agriculture in Asia		世田谷	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農林水産業、農業と自然のコンフリクト、アグロエコロジーに興味を持つものとする	集中開講される「国際体験学修プログラム(CIEP)」に参加することが条件である。 (約1週間の宿泊を伴うプログラム。参加費(航空券、宿泊費等)は自己負担)
Molecular Biology and Biotechnology		世田谷	全学生	中級以上	上級	基礎的な生物学の知識を有すること	最後に日本の食、受講者のふるさとの食にまつわるプレゼンテーション課題がある。
Japanese Food Culture / 旧カリ: Comparative Nature Study from Cultural Perspective		世田谷	全学生	中級以上	中級	日本及び世界の食・文化に興味があるとよい	ディスカッションやプレゼンテーションを中心に進めていくため、意欲的に発言し参加する姿勢が必要である。

※1 英語能力の目安 初級: TOEIC300程度 中級: TOEIC400程度 上級: TOEIC500以上

## 2 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録

東京情報大学との間で協定を締結しており、東京情報大学の授業科目を履修することができます。

※学生教務課窓口で確認してください。

# 履修登録の方法

履修登録は学生ポータル「履修登録 (修正)」から行います。登録方法は以下のとおりです。

**住所等の登録を行っていない学生は、Web 履修システムを利用することができません。**

※住所等の登録については、27 ページ参照

## (1) 「履修登録 (修正)」 を選択



- ① 「教務掲示」 タブを選択
- ② 「履修登録 (修正)」 を選択

履修登録画面が表示されます。

**履修登録(修正)**

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他	S7146 地水環境 工学 渡邊 文雄	S7144 地域と文化(工学) (1日/1補講) 渡辺 啓巳
2時限			S7153 専攻演習(一)(地域資源 利用工学研究室) 二橋 真智人 他	S7038 物理学 竹村 彰夫	S7161 設計製図 在科 公他
3時限	S7047 国際関係と社会問題 (工学・創成) 澤登 芳英		S7163 土地改良学 中島 亨		
4時限	再履修 S7101 材料力学 川崎 太	他 S7041 森林教育学(1日 カ/補講) 岡崎 謙生			
5時限					
6時限					
7時限					

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	22	44	-
下限		-	-	-	-
上限	他所属	-	0	2	2 (0)

※他所属 他大学、他学部、他学科

初期表示は該当の年度・学期の登録画面であり、登録されている開講科目が表示されています。

### A 他所属講義

コマに他所属講義がある場合、他所属を表す画像 [ 他 ] が表示されます。

### B 再履修科目

コマに再履修科目がある場合、再履修を表す画像 [ 再履修 ] が表示されます。

### C 履修単位 ※カウント方法は 11 ページ参照

学期、年間、累積 (他所属のみ) の履修単位数を確認できます。

学期、年間は制限単位数 (黒字) と、履修中の単位の合計 (赤字) を表示します。

累積は制限単位数 (黒字) と、今まで履修してきた単位 + 登録中の単位の合計 (赤字) を表示します。更にカッコ内に前の学期までの数が表示されます。

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

## (2) 履修登録の追加

新規で科目を履修登録する 4 つの方法について

### a. [📎] からの登録



① [📎] アイコンを選択

開講科目選択画面が表示されます。

※所属学部学科開講科目と全学開講科目が表示されます。



① 「開講番号 (履修番号)」「開講科目名・担当教員等」の情報を確認し、表示されている開講科目から選択

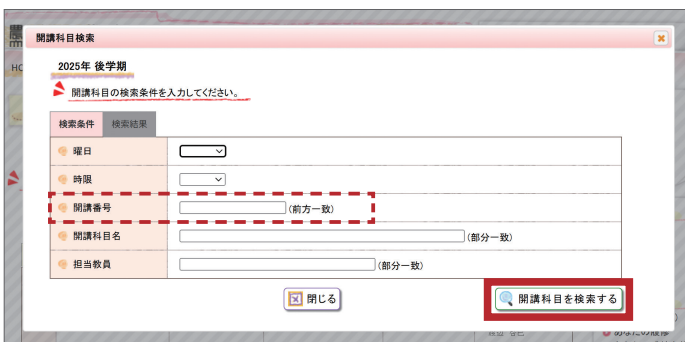
② **登録する** を押下

### b. [開講科目検索] からの登録



① **開講科目検索** を押下

検索画面が表示されます。



① 「開講番号」を入力

② **開講科目を検索する** を押下

#### 「開講番号」で検索する際の注意

履修番号 4 桁の数字の前に、必ず半角英字をつけてください。

- ・世田谷キャンパスの科目：「S\*\*\*\*」
- ・厚木キャンパスの科目：「A\*\*\*\*」
- ・オホーツクキャンパスの科目：「O\*\*\*\*」

c. [ 他所属講義選択 ] からの登録

※他所属講義（他学部・他学科所属）は、この方法で履修登録を行ってください。



① **他所属講義選択** を選択

他所属講義選択画面が表示されます。



① 表示されている開講科目を選択

② **登録する** を押下

※他所属講義科目を追加  
表示されている開講科目以外の開講科目を登録する場合は、**開講科目を追加する** を押下すると登録できます。

d. [ 集中講義選択 ] からの登録

※集中講義は、この方法で履修登録を行ってください。



① **集中講義選択** を選択

集中講義選択画面が表示されます。



① 「開講番号（履修番号）」「開講科目名・担当教員 等の情報を確認し、表示されている開講科目から選択

② **登録する** を押下

### (3) 履修登録科目の削除

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2025年 前学期 2025年 後学期 未登録 登録済 変更不可

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	S7145 環境土木学 岡澤 聖也		S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他		S7144 地域と文化(工学) 【旧カリ補講】 渡辺 裕巳
2時限	S7009 TOEIC英語中級 松本 孝子	再履修 S7104 情報基礎(二) (工学) 他 佐々木 豊他	S7149 専攻演習(一)(ハイ オロボティクス研究室) 佐々木 豊他		

- ① 登録中の登録科目名を押下
- ② 削除画面へ遷移

※必修科目などの自動登録科目を削除する場合、注意メッセージ等が表示されます。  
必修科目は削除しないでください。

### (4) 登録内容が反映された履修登録画面

履修登録(修正)

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2025年 前学期 2025年 後学期 未登録 登録済 変更不可

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他	S7146 地水環境 工学 渡邊 文雄	S7144 地域と文化(工学) 【旧カリ補講】 渡辺 裕巳
2時限			S7153 専攻演習(一)(地域資 源利用工学研究室) 二階 眞吾 他	S7033 物理学 竹村 彰夫	S7161 設計製図 左村 公他
3時限	S7047 国際関係と社会問題 (工学・創成) 澤登 秀英		S7163 土地改良学 中島 亨		
4時限	再履修 S7101 材料力学 川格 太	他 S7041 森林教育学【旧 カリ補講】 岡崎 康生			
5時限					
6時限					
7時限					

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	22	44	-
下限		-	-	-	-
上限	他所属	-	0	2	2
					16
					2(0)

※他所属:他大学,他学部,他学科

入力内容を確認する

前述 (2) ~ (3) の手順を繰り返し、登録したい開講科目をすべて選択し終えたら、  
**入力内容を確認する** を押下

※履修単位の上限については、  
カリキュラム・学科によって異なります。

※この時点では、まだ履修登録は完了していません。

### (5) 履修登録内容確認画面

履修登録(修正)

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

入力画面へ戻る

履修内容を確認してください。

2025年 前学期	2025年 後学期			
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他	S7146 地水環境工学 源達 文雄	S7144 地域と文化(工学) 【旧カリ補講】 源辺 啓巳
2時限		S7153 専攻演習(一)(地域資源利用工学研究室) 三原 真智人 他	S7033 物理学 竹村 彰夫	S7161 設計製図 左村 公徳
3時限	S7047 国際関係と社会問題(工学・創成) 澤金 芳夫		S7163 土地改良学 中島 亨	
4時限	【再履修】 S7101 材料力学 川松 大	他 S7041 森林教育学【旧カリ補講】 関岡 東生		
5時限				
6時限				
7時限				

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	22	44	-
下限		-	20	44	-
上限	他所属	0	2	2	2(0)

※他所属:他大学、他学部、他学科

入力画面へ戻る

この内容を登録する

内容を確認し、問題なければ

この内容を登録する を押下

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

### (6) 履修登録完了画面

プレビューで確認して下さい

印刷する

火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他	S7146 地水環境工学 源達 文雄	S7144 地域と文化(工学) 【旧カリ補講】 源辺 啓巳
	S7153 専攻演習(一)(地域資源利用工学研究室) 三原 真智人 他	S7033 物理学 竹村 彰夫	S7161 設計製図 左村 公徳
	S7163 土地改良学 中島 亨		
他 S7041 森林教育学【旧カリ補講】 関岡 東生			

		前学期	後学期	年間	累積
限	履修単位	22	22	44	-
限		-	20	44	-
限	他所属	0	2	2	2(0)

※他所属:他大学、他学部、他学科

登録番号:103

履修登録が完了すると、

画面右下に「登録番号」が表示されます。

右上の「印刷する」ボタンを押下し、必ず印刷または画面データで、履修登録完了画面全体を保管してください。(修正した場合も同様)



履修に関する問い合わせには、根拠資料として「登録番号」が必要です。必ず、登録番号を控えてください。

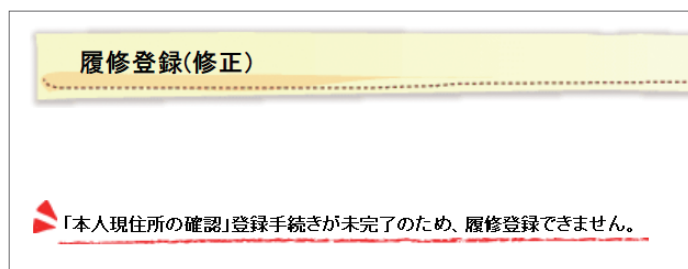
※この時点で履修登録が完了

(すぐにはスケジュールや My 時間割等に反映されません。正式な反映は履修確認日以降です。)

## (7) 履修登録ができない場合

履修登録を行うためには、「住所等の登録」を行ってください。

※「住所等の登録」は毎年度行う必要があります。



① 「本人現住所の確認」等が未完了の場合、エラーメッセージが表示されます。



② タブおよびサイドメニュー画面から「住所等の登録」を選択

## (8) 履修確認について

- (1) 履修登録開示の期間中に、学生ポータルで履修登録状況を確認してください。(日程等は 9 ページを参照)
- (2) **履修登録の内容に修正がある場合は、必ず履修修正期間に学生ポータルから修正してください。**
- (3) 履修登録は履修番号に基づき行っています。履修番号を誤って登録すると、エラーが表示されるか、全く別の授業科目が登録されます。必ず、登録されている授業科目名・クラス・担当者を確認してください。  
**※履修登録をしていない科目は、授業に出席しても単位は修得できません。**

## (9) 履修確定について

- (1) 学生ポータルで履修登録状況を確認してください。日程等は学生ポータルでお知らせします。
- (2) 履修登録期間・履修修正期間では、**自分の登録画面 (26 ページ (6) の履修登録完了画面) を必ずプリントアウト**し、いつでも確認できるようにしてください。
- (3) 用語の説明
  - ◇正規履修 …… 所属する学部・学科で開講している科目を初めて履修登録する場合の登録種別。在学年次授業科目の場合は、指定したクラス分けに従い履修登録してください。低学年次の授業科目の場合は、クラスを選んで履修登録してください。
  - ◇再履修 …… 一度履修した授業科目のうち、不合格（不可または未評価）になった授業科目を再度履修する場合の登録種別。
  - ◇他学科聴講 …… 所属する学科以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別（教職課程科目を除く）。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他所属累計単位数にも加算します。
  - ◇他学部聴講 …… 所属する学部以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別（教職課程科目を除く）。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他所属累計単位数にも加算します。

## (10) 時間割を参照するうえでの留意事項

時間割は Web 上で PDF ファイルを公開します。時間割変更等がある場合、随時修正しますが、即時ではありませんのでご注意ください。

### (1) 科目の種類 (区分欄に表示)

必…必修科目                      選必…選択必修科目                      空欄…選択科目

### (2) クラス分け表示

◇クラスを学籍番号で分ける科目は、クラス分け表に基づき自分の所属するクラスを確認してください。

◇クラス分けのない科目は、クラス表示をしていません。

### (3) 隔週表示

区分欄の前に「隔週」と表示した科目は、1 週おきに単独または 2 科目交互に実施する科目です。実施については授業担当者の指示に従ってください。

### (4) 集中授業科目

時間割に曜日・時限・教室等の記載がない科目は、集中科目の日程（時間割表）を学生ポータルでの時間割格納場所に掲出します。

### (5) 教室表示

◇教室欄に 2 室以上配当している科目は、いずれの教室で実施するかを、担当教員または学生教務課で確認してください。

◇実験・実習・演習室は略称表示をしています「教室実験・実習・演習室短縮名称（49 ページ）」で確認してください。

◇教室の場所がわからない場合は、学生教務課窓口で確認してください。

### (6) 開講時限・教室等の変更

**時間割・教室等は、変更になることがあるので、必ず学生ポータルを確認してください。**

**また、次年度以降の時間割（開講学期・曜日・時限・担当者等）は変更になる可能性があります。**

### (7) 教職課程科目の時間割

◇科目名の後に、学科名の短縮表示のある科目は、学科指定の科目です。当該学科・学年の学生は必ず指定の時限で履修してください。

◇クラス欄にアルファベット表示のある科目はオープン科目です。各自の時間割にあわせて選択し、受講してください。（一部科目を除く）

### (8) 履修番号欄の「A\*\*\*\*」は、次の場合に表示している

◇当該時限前の科目を引続き開講する場合

◇後学期において通年科目を表示する場合

### 3 学生ポータル

学生ポータルとは、学生生活を送るうえで必要な情報を Web 上で確認できるシステムです。

個人の呼び出しや授業の情報などがパソコン・スマートフォン等から確認できます。また、履修登録や成績の確認、オフィスアワー、シラバスの検索など授業の受講に必要な手続きにも利用します。

※このてびきでは、パソコン用画面に沿った説明を記載しています。

#### (1) ログインの方法



東京農業大学ホームページ

<https://www.nodai.ac.jp>

- ① 「**在校生の方**」をクリックしてください。
- ② 「**学生ポータル**」をクリックし、使用するデバイスを選んでアクセスしてください。
  - ・ 「学生ポータルパソコン用」
  - ・ 「学生ポータルスマートフォン用」
- ③ 「利用者 ID」に学籍番号を入力し、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックしてください。



## (2) 各メニューの使い方

**A** HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | 奨学金 | シラバス | オフィスアワー | 授業評価アンケート | キャビネット | WebClass

**B** 週間スケジュール

12/11 (木)	12/12 (金)	12/13 (土)	12/14 (日)	12/15 (月)	12/16 (火)	12/17 (水)
3限(13:00-14:30) 食農専門演習(二)	2限(10:40-12:10) 地理学(食農)			2限(10:40-12:10) 英語(四) Aクラス	1限(9:00-10:30) 農学概論	3限(13:00-14:30) 食農基礎実験
4限(14:40-16:10) 食農専門演習(二)	3限(13:00-14:30) 国際フードシステム			3限(13:00-14:30) 食品加工学	3限(13:00-14:30) 食と農の歴史と文化	4限(14:40-16:10) 食農基礎実験
	4限(14:40-16:10) 食農作物学					5限(16:20-17:50) 特別講義(一) 東京

**C** 本日のスケジュール

- 3限(13:00-14:30) 食農専門演習(二)
- 4限(14:40-16:10) 食農専門演習(二)

本日のスケジュールはありません。

本日が期日のToDoはありません。

各キャンパスからのお知らせ

- 12/11 (木) New インフルエンザにご注意を!
- 12/11 (木) New 【募集】アカデミックサポーター説明会および座談会
- 12/10 (水) New 【誰でも参加OK】学科・学年を超えて話せるランチ

全学共通のお知らせ

- 12/10 (水) New 令和7年度 学位記授与式の開催について(お知らせ)
- 12/9 (火) 【重要】世田谷キャンパス停電に伴うネットワークお
- 12/9 (火) 学生向け講演会<<農大生、在学中に起業する>>
- 12/9 (火) 【重要】令和7年青森県東方沖を震源とする地震に
- 12/5 (金) 【重要】2025年度後学期「学生による授業評価ア

あなた宛のお知らせ

- 12/10 (水) New 【重要】訂正:2026年度の選択必修英語科目の履修
- 12/10 (水) New 【重要】専門演習Aクラス12月11日 3限クラス演習
- 12/9 (火) 動画配信:論文・レポート作成に役立つ文献の集め
- 12/8 (月) 【重要】2026年度の選択必修英語科目の履修希望

教務情報

- 時間割表
- 教務掲示一覧
- 授業日関係
- 履修関係
- 試験関係

履修成績

- 履修登録(修正)
- あなたの履修
- あなたの成績台帳

## A 上部メニューバー

### MY 時間割

各自の授業時間割を確認できます。

教室変更や休講情報、課題の連絡等の重要な情報を確認できます。

### 教務掲示

#### ○時間割表

クリックするとキャビネットに自動遷移します。キャビネット一覧から時間割表を選択すると各キャンパスごとのフォルダに分かれており、各時間割表 (PDF) を掲載しています。なお、集中開講科目日程表もここに掲載しているため、履修登録の前に確認してください。

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | 奨学金 | シラバス | オフィスアワー | 授業評価アンケート | キャビネット | WebClass

My時間割

- 時間割表
- 教務掲示一覧
- 授業日関係
- 履修している時間割: 履修関係
- 休講 補講 時間: 試験関係
- 授業日程変更 レポート課題
- 履修登録(修正)
- あなたの履修
- あなたの成績台帳

照会

- My時間割

前学期	月曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			食農専門実習 (果樹部門) 伊勢原農場		

○教務掲示一覧

教員および学生教務課等から、授業に関するお知らせを掲示しています。

講義の受講方法、レポート課題についての連絡など、授業を受ける上で必要な情報を確認できます。学生ポータルにログインした際は、必ず確認してください。

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | 奨学金 | シラバス | オフィスアワー | 授業評価アンケート | キャンパス | WebClass

教務掲示一覧

現在掲示中の教務情報は以下の通りです。  
 掲示内容を絞り込む場合は、下の検索条件から絞り込んでください。

1-4件表示/4件中 [10] 件表示

種別	開講科目名	曜日時限	担当教員	詳細	▼ 掲示日
講義連絡	植物病理学	水1限 (9:00-10:30)		タイトル：3、4週目講義資料 添付ファイル：無	2025/12/02 11:59
休講情報	マーケティング学	火3限 (13:00-14:30)		対象日：12/2(火)	2025/12/02 10:39
講義連絡	植物病理学	水1限 (9:00-10:30)		タイトル：11月19日 講義資料 添付ファイル：無	2025/11/14 15:05
授業日程変更	マーケティング学	火3限 (13:00-14:30)		授業日程変更日：10/14(火)～	2025/10/10 16:49

「教務掲示」から「教務掲示一覧」をクリックすると履修している科目に関するお知らせが表示されます。

【メッセージ種別】

- 休講情報……………休講する科目と日程について
  - 補講情報……………休講した授業の補講日程等について
  - 時間割変更情報…教室や時限・曜日変更等について
  - 授業日程変更……授業の時限や教室変更等について
  - 講義連絡……………授業に関するお知らせや課題・試験等について (次ページ※ 1 参照)
  - レポート課題……レポート課題の詳細と提出について (次ページ※ 2 参照)
- 提出した後に同画面を確認し、「提出済み」「受理」等を確認してください。

【教務掲示の検索方法】

ページ下部の検索条件から必要な情報を検索できます。  
 詳細検索条件の「▼検索条件を開く」をクリックすると、過去の掲示内容や教員名・開講番号で検索できます。

教務掲示一覧

※ 1 講義連絡



「開講科目名」をクリックすると授業に関するお知らせを確認できます。

試験や授業の受講についての案内もあります。授業の前に必ず確認してください。

※ 2 レポート課題

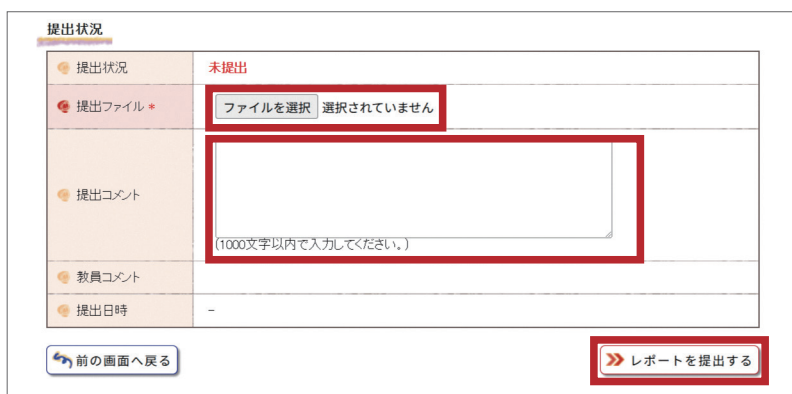


「開講科目名」を選択すると、レポート課題についてのお知らせを確認できます。作成したレポートは、以下の手順で提出してください。

[レポートを提出する] をクリックすると詳細と下記の画面が確認できます。

※履修中の科目のみレポート課題を提出できます。

レポートの内容を確認し、指定の書式で課題を作成してください。



[ファイルを選択] から、作成したファイルを選択してください。必要があれば提出コメントを入力し、[レポートを提出する] をクリックしてください。

提出後、提出状況の表示（「提出済み」「受理」「再提出」等）を、必ず確認してください。

**教務揭示**

- あなたの履修  
当該年度の履修登録期間に登録した科目の確認ができます。  
※未登録の科目の受講や試験の受験はできません。
- あなたの成績台帳  
成績、単位修得状況、GPA 等を確認することができます。

**シラバス**

授業の内容を確認することができます。成績評価の基準等、履修登録する前に必ず確認してください。

**オフィスアワー**

授業担当者の連絡先や質問方法、対応時間が掲載されています。授業時間以外で質問する場合に利用してください。

**キャビネット**

学生生活ハンドブックや履修のてびき、時間割表、年間授業計画、各種申請書類などを確認することができます。

**B 週間スケジュール**

授業の予定や大学の予定を確認できます。  
科目名をクリックすると講義連絡等も確認することができます。  
なお、隔週で開講している科目は毎週表示され、集中科目は表示されない場合があります。

**C 各お知らせ****全学共通のお知らせ**

農大生全体にお知らせしている内容です。  
授業の運営方針やシステム障害等、重要な内容をお知らせします。

**各キャンパスからのお知らせ**

所属キャンパスごとのお知らせです。  
履修登録や定期試験、奨学金等について、お知らせします。必要な情報を確認してください。

**あなた宛のお知らせ**

個人宛に送っている内容です。  
特定の学科、学年にのみ送信している連絡、授業に関するお知らせ、教員や学生教務課からの呼び出し等のお知らせがあります。必ず確認し、対応してください。

## 4 WebClass

WebClass は、本学で導入している PC・スマートフォンからアクセスできる学習支援システム（LMS）です。授業に関するお知らせ、教材の配信、テストの受験、出席管理等に利用します。また、学生ポータルと同じユーザー ID とパスワードを使用してログインします。主な利用方法については以下に記載しています。その他の機能については WebClass 「マニュアル」 タブにあるマニュアルを参考にしてください。

※パソコン用画面に沿った説明を記載しています。

※画面はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

### (1) ログイン方法



大学ホームページ [ 在学生の方 ] や学生ポータルの上部メニューバー等にもリンクがあります。

WebClass ログイン URL  
<https://lms.nodai.ac.jp/>

[ WebClass にシングルサインオンする ] を選択し、ユーザ ID とパスワードを入力して、[ ログイン ] をクリックします。

### 【重要】 WebClass をクリックしても反応がない場合（もしくはエラーの表示が出る場合）

主にスマートフォンでのログイン時の発生が報告されています。ブラウザの「ポップアップブロック」をオフにするか「閲覧履歴の消去」（対象期間は任意で選択）を行ってみてください。それでも解決しない場合は教務課に問い合わせてください。（下には参考までに主なブラウザでの設定方法を簡単に記載しています）

#### ◇ ポップアップブロック

Safari : 本体の「設定」→「Safari」→「一般」→「ポップアップブロック」をオンからオフに切り替える。

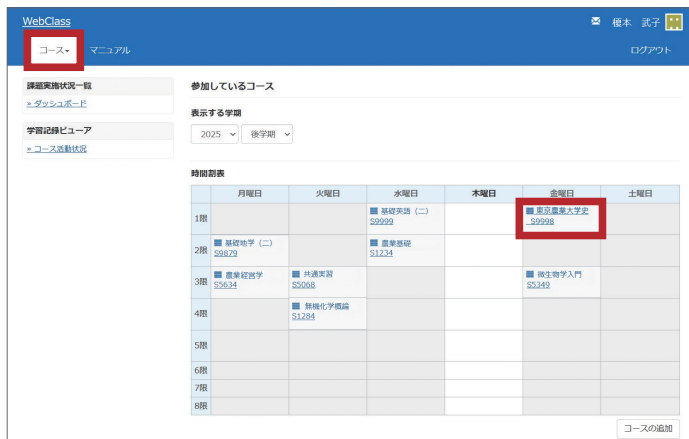
Chrome : アプリの「設定」→「権限」→「ポップアップとリダイレクト」をオフにする。

#### ◇ 閲覧履歴の消去

Safari : 本体の「設定」→「Safari」→「履歴と Web サイトデータを消去」を選択し、履歴を消去する。

Chrome : アプリの「[...]」などのその他アイコン → 「履歴」 → 「閲覧履歴データの削除」から履歴を削除する。

## (2) コースの見方



※ 「コース」とは科目のことを指します。

WebClass トップページ（時間割画面）から確認したいコースを選択します。



コースごとのページに遷移し、「教材」タブが開きます。

コース内では、教材の閲覧、テストの受験、出席の送信などを行うことができます。

## (3) コースの追加

履修登録・修正した科目は翌日以降に WebClass の時間割にコースとして自動的に反映され、登録されている科目のコースページを利用できるようになります。**WebClass からは履修登録・削除はできません。**

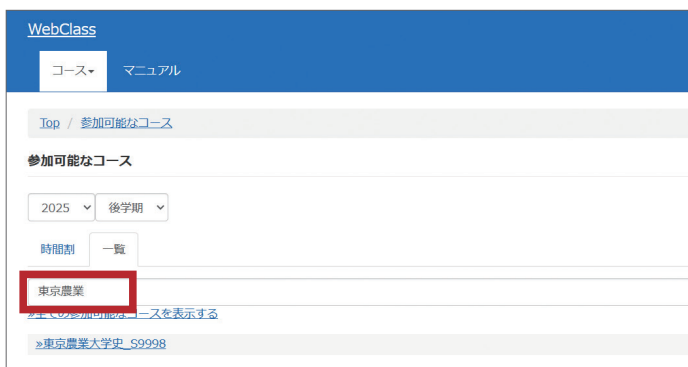
履修登録よりも前、または履修登録したあとで WebClass に未反映の状態 WebClass の時間割にコースを追加したい場合のみ、手動で個別に追加を行うことができます。

[例：履修登録を検討中の科目の 1 回目の授業に出席し出欠確認を WebClass で行う指示があった場合]

履修登録が反映されるまで待つことができる場合は、追加の必要はありません。なお、追加は履修登録・修正期間中にのみ行うことができます。履修開示後は追加・削除はできません。



WebClass トップページ（時間割表の下までスクロールし、「**コースの追加**」をクリックします。



追加したいコースの **年度** **学期** を指定後、「一覧」タブの検索枠または「時間割」タブの表の「≫追加」から追加したいコースを探して選択します。



コース名・年度・学期・曜日時限・コース管理者（担当教員）・開講番号を確認し、**メンバーになる** をクリックします。WebClass トップページでの時間割表に追加されるので確認してください。

#### (4) 教材の閲覧方法

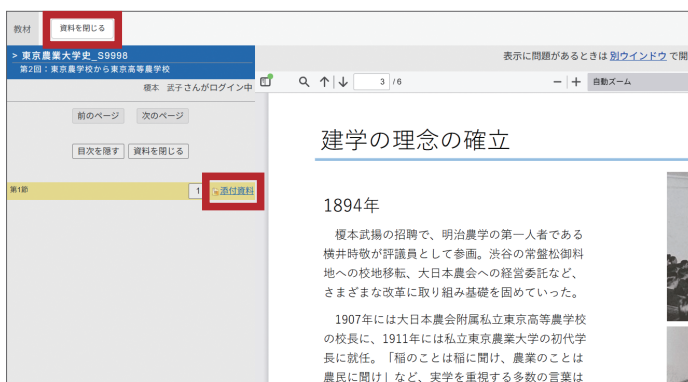


WebClass 内での「教材」には

- ・資料
- ・レポート
- ・テスト
- ・アンケート

などの種類があります。

「教材」タブを選択した状態で、表示されている中から選んでクリックします。



コースごとのページに遷移し、「教材」タブが開きます。コース内では、教材の閲覧、テストの受験、出席の送信などを行うことができます。

## (5) テストの受験

教材の中から受験するテスト（試験）を選び、**開始**をクリックします。

**【要注意】** テスト開始後、ウィンドウを閉じる、別のウィンドウを開く、別のアプリの起動・遷移等を行うと、**テストを続けられなくなる場合があります。**

受験前に通信環境を確認した上で開始し、**絶対に途中でウィンドウを閉じないようにしてください。**

※推奨機器：PC、タブレット

テストの設問と解答欄が表示されるので全て解答してください。

解答を終えたら**終了**をクリックします。

未解答の設問がある場合、左のようにメッセージが表示されます。

**終了**を選ぶと戻ることはできなくなります。

修正したい場合は**戻る**から該当の設問へ戻り、最終確認してから**終了**をクリックしてください。

正常に終了すると、左のようにメッセージが表示されますので**終了**をクリックしてください。

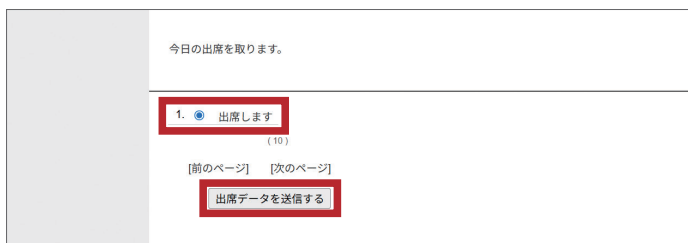
## (6) 出席の送信



コースごとのページの「出席」タブを開くと、授業日が一覧で表示されるので、日付をクリックします。



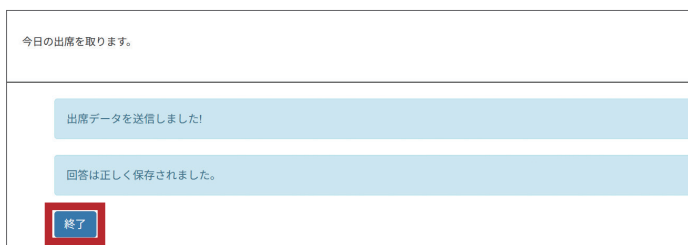
教員が指定したパスワードを入力し、「開始」をクリックします。



**出席します** のラジオボタン●を押し、**出席データを送信する** をクリックします。

※通信環境によっては、出席データが反映されない場合がありますので、速やかに送信するようにしてください。

ホーム画面に戻り、「出席」タブをクリックし、「履歴」をクリックすると確認することができます。



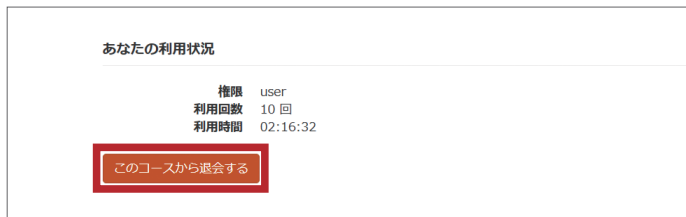
出席データの送信を確認し、「終了」をクリックしてください。

## (7) コースの退会

基本的にはコースの退会を行う必要はありません。先述のとおり履修登録・修正で削除した科目は翌日以降に自動反映されるためです。ただし、履修登録期間中に誤ったコースを手動で追加してしまったなどの場合には、コースから退会することができます。



WebClass トップページでの時間割表から退会したい科目を開き、「コース」タブから「開講情報」をクリックします。



表示された画面の下までスクロールし、「このコースから退会する」をクリックします。



「本当にこのコースから退会しますか?」という確認画面が表示されるので、ここでも「このコースから退会する」をクリックします。WebClass トップページでの時間割表から消えていることを確認してください。

## (8) マニュアル



授業によっては、ここに掲載していない機能を使う可能性があります。WebClass トップページでの「マニュアル」タブから必要に応じてマニュアルを確認してください。

## 5 教材フォルダ

本学では、授業に必要な教材を、学生ポータル「講義連絡」や「在宅学習用教材 (Microsoft OneDrive)」、「WebClass」から配信しています。

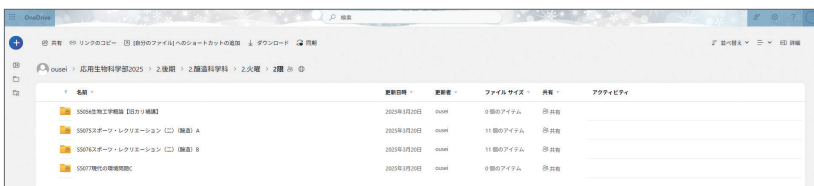
ここでは、「在宅学習用教材」のダウンロード方法について説明します。

### 【注意事項】

- ◇ 教材フォルダは Microsoft Office を使用しています。必要な方は「新入生のための農大ネットワーク利用ガイド」を参照し、インストールしてください。
- ◇ 各自の農大メールアドレス (学籍番号@nodai.ac.jp) でアクセスしてください。
- ◇ パソコンまたはタブレットでの学習を推奨しています。(スマートフォン等でファイルをダウンロードして閲覧することは可能です。)
- ◇ 教材をオンライン上で閲覧するとうまく動作しない場合があります。必ずダウンロードして学習してください。



「在宅学習用教材」から該当科目の学部を選択してください。



ブラウザ上で Microsoft OneDrive が表示されます

- ① 学部・学科・学期・曜日・時限…と順に開いて該当する科目のフォルダを探す
- ② 必要なデータを見つけ出して選択し、ダウンロードする

## 6 遠隔授業の受講方法

### (1) 遠隔授業とは

パソコンやタブレットを使い、インターネットを介すことで、講義を受ける形態のことです。

学生ポータルを通じて配信される在宅学習用教材（オンデマンド型）の閲覧や、講義を録画した動画を閲覧することで学習し、指示された課題やレポート等を提出し受講します。なお、できるだけ授業日に受講してください。

### (2) 受講方法・流れ

授業科目により実施方法が異なりますので、シラバス、講義連絡等による、指示に従ってください。本学では、対面授業で実施している講義も遠隔授業を組み合わせ実施しています。授業担当者からの指示がありますので、注意するようにしてください。

#### 授業前日まで

シラバス	学生ポータル「シラバス」から該当科目を検索し、授業内容、実施方法、予習内容等を確認してください。
------	--

#### 授業 30 分前まで

講義連絡	学生ポータル「My 時間割」から講義を選択すると確認できます。
------	---------------------------------

#### 授業開始

実施方法	詳細
配信ツール	Zoom による双方向リアルタイム通信（授業時間はミーティングに参加）
教材	学生ポータル「在宅学習用教材フォルダ」または WebClass からダウンロード
出席確認	WebClass または点呼

### (3) 受講する際の推奨スペック

遠隔授業を受講するための環境の推奨スペックは下記のとおりとなります。新規に購入する場合や買い替えの際は参考にしてください。すでにパソコンやタブレットを所有されている場合は新たに購入する必要はありません。これらを準備できない場合は、大学のコンピュータ自習室等の PC 及び Wi-Fi 環境を利用できます。なお、新たにパソコン等を購入される場合、Office365 ソフト（Word、Excel、PowerPoint、Access 等）は、大学がライセンス契約しているため、全学生が無料で使用できますので、同ソフトを購入する必要はありません。

端末	キャンパスへの持ち運びが可能なノート型 PC またはタブレット型 PC（キーボード付）を推奨
OS	Windows11 ※Mac の利用も可能としますが、Access や ArcGIS が利用できないなど一部サポートできないことがあります。Chrome OS はアプリの互換性の観点から非推奨
CPU	Intel なら Corei3 以上、AMD なら Ryzen3 以上 ※Snapdragon 搭載パソコンはアプリの互換性の観点から非推奨
メモリ	8GB 以上
ディスプレイ解像度	1920 × 1080 以上
内蔵記憶	256GB 以上（SSD 推奨）
必須機能	Wi-Fi、カメラ、マイク、スピーカー（外付可）

## 7 Forms の使い方

Forms は、ブラウザを利用した Microsoft のアプリケーションで、各種アンケートや小テスト、試験等で使われます。アクセスに必要な URL は、主に学生ポータル「お知らせ」や「講義連絡」で周知します。

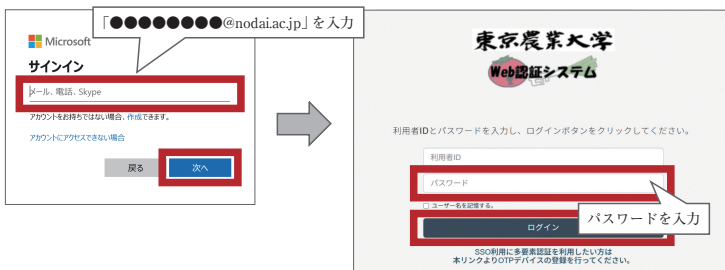
### (1) Forms へのアクセス



講義連絡等に記載されている Forms の URL をクリックしてください。

※「詳細」欄に記載の場合は、URL をコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けます。

### (2) サインイン



①サインインを求める画面が表示されたら、各自の **農大メールアドレス** を入力し、**次へ** を押してください。

② Web 認証画面が表示された場合は、パスワードを入力し **ログイン** を押してください。

### (3) 解答方法



③ Forms にログインし、解答画面が表示されます。

④ 選択肢 (複数選択有り) やテキスト入力、ドロップダウン等の様々な解答方式があります。

※解答時間が設定されている場合は 59 秒までが解答時間となりますので、気を付けてください。

【例】 9 時までの場合、  
8 時 59 分 59 秒まで

## 8 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する「履修モデル」を45ページ～48ページへ学科別に掲載しています。自学科の「履修モデル」を参考にしてください。

**【注意】** 履修モデルに記載されている科目のみで、卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。

当該学科の卒業要件単位（必修科目・選択必修科目・選択科目）、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得（受験資格を含む）することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、入学年度の「学生生活ハンドブック（授業科目配当表）」を参照してください。

※ 2026年度の時間割表は学生ポータルから確認してください。

農学部 農学科 履修モデル

コース		農業関連産業・団体	農業(後継者・新規就農者)	食品・流通関係	学術情報関連	公務員(農学系)	教員(農業)	教員(理科)	大学院進学
開講区分	概要	JA、農業を営む法人・会社などへの就職を目指す	農業の後継(自営)または新規就農を目指す	食品・流通関係の会社への就職を目指す	博物館や図書館などで働く学芸員、司書を目指す	国家公務員、地方公務員を目指す	農業高校の教員を目指す	中学・高校の理科の教員を目指す	大学院進学を目指す
総合教育科目	英語科目	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) 英語プレゼンテーション(一)	英会話(一) 英会話(二)	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) 英語プレゼンテーション(一)		TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二)	科学英語(二)	科学英語(二)	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 科学英語(二) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">入試科目に英語が課せられることが多いので英語を特に学習する。</div>
	スポーツ関係科目						スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	
	就職準備科目	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ					
学部専門教育科目	専門共通科目	環境科学 知的財産論	環境科学		動植物園論 知的財産論	環境科学 知的財産論	環境科学	環境科学 知的財産論	環境科学
	学際領域科目	農業経営学 植物生理生態学 植物生長調節論	農業経営学	植物生長調節論	分子生物学 自然再生技術論	農業経営学 植物生理生態学	農業経営学	植物生理生態学 植物生長調節論 分子生物学	植物生理生態学 植物生長調節論
	創生型科目	農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二)	農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二)			農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二)	農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二)		
学科基礎科目	人間関係科目	科学と哲学	科学と哲学	生命倫理 科学と哲学	科学と哲学 文化人類学	科学と哲学	生命倫理	生命倫理	生命倫理 科学と哲学
	社会関係科目	現代社会の諸問題	現代社会の諸問題	経済入門 現代社会の諸問題		日本国憲法	日本国憲法	日本国憲法	
	自然関係科目	生物学 化学	生物学	数学 化学	生物学 地学	生物学 化学 数学	生物学	生物学 化学 物理学 地学	生物学 化学 数学
学科専門科目	専門基礎科目	実験計画法 植物栄養学 雑草学 農産物マーケティング論 植物防疫論	農業気象学 植物栄養学 農産物マーケティング論 植物防疫論	農産物マーケティング論 植物防疫論		植物防疫論	実験計画法 農業気象学 植物栄養学 植物防疫論	農業気象学 植物栄養学 実験計画法	実験計画法 植物栄養学
	専門コア科目	植物育種学 植物病原微生物学(一) 植物病原微生物学(二) 果樹園芸学 野菜園芸学 花卉園芸学 バイオナーサリー論 ポストハーベスト論	食用作物学(一) 食用作物学(二) 果樹栽培論 野菜栽培論 園芸環境植物学 植物病理学 土壌学	食用作物学(一) 食用作物学(二) 工芸・飼料作物学 果樹園芸学 野菜園芸学 花卉園芸学 ポストハーベスト論	植物病原微生物学(一) 植物病原微生物学(二)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公務員を目指す者は、指導教員とよく相談して幅広く専門科目を履修する。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">上記科目は、農業高校の教員になる者に履修を勧める科目である。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">上記科目は、中高の理科の教員になる者に履修を勧める科目である。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大学院進学を志望する者は、指導教員とよく相談して志望分野に関係する専門科目を履修する。</div>

農学部 動物科学科 履修モデル

コース		就農者	食品関連企業	製薬関連企業	公務員・動物関連団体	教員関連		進学
開講区分	概要	酪農、肉用牛生産、養豚及び養鶏などの畜産業に携わる人材の育成	食品や飼料の製造及び品質管理等に携わる人材の育成	動物や人の健康を守る人材の育成	行政機関及び動物関連団体で働く人材の育成	農業に関連した学校教員を目指す人材の育成	理科に関連した学校教員を目指す人材の育成	動物に関連した生産や生命の科学的追及をする人材の育成
総合教育科目	英語科目	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC 英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC 英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC 英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC 英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC 英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC 英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC 英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)
	スポーツ関係科目					スポーツレクリエーション(一)・(二)	スポーツレクリエーション(一)・(二)	
学部専門教育科目	専門共通科目		環境科学	知的財産論	環境科学		動植物園論	知的財産論
	学際領域科目	農業経営学 農産物マーケティング論	農業経営学 生命科学 分子生物学	生命科学 分子生物学	自然再生技術論 生命科学 分子生物学	植物生理生態学 生命科学 分子生物学	生命科学 分子生物学	生命科学 分子生物学
	創生型科目	農業インターンシップ(一)・(二)				農業インターンシップ(一)・(二)		
学科基礎科目	人間関係科目	生命倫理	生命倫理	生命倫理	生命倫理 文化人類学	生命倫理 文化人類学	生命倫理 科学と哲学	生命倫理 科学と哲学
	社会関係科目	経済入門	経済入門	経済入門	日本国憲法 現代社会の諸問題	日本国憲法 現代社会の諸問題	日本国憲法 現代社会の諸問題	国際関係を考える
	自然関係科目	生物学	生物学 化学 数学	生物学 化学 数学	生物学 化学 数学	生物学 化学 数学	生物学 化学 数学 物理学 地学	生物学 化学 数学
学科専門科目	専門基礎科目	牧場実習	動物微生物学	動物微生物学 実験動物学		牧場実習	実験動物学	実験動物学
	専門コア科目	動物遺伝資源学 トリの生殖学 飼料学 動物管理学	動物遺伝資源学 動物栄養学	栄養分子制御学 生殖生理学	動物遺伝資源学 トリの生殖学 生殖生理学 動物管理学	動物遺伝資源学 トリの生殖学 動物栄養学 飼料学 動物管理学	動物生理化学 動物遺伝資源学 動物管理学	専修希望分野別科目

農学部 生物資源開発学科 履修モデル

科目区分		農業生産・食品・バイオ関連産業等		行政・環境コンサル・NPO 法人等		教育普及・研究者等	
総合教育科目	全学共通	フレッシュマンセミナー 情報基礎(一) 特別講義(二) 特別講義(四) インターナショナル・スタディーズ(一) 共通演習 情報基礎(二)		フレッシュマンセミナー 情報基礎(一) 特別講義(一) インターナショナル・スタディーズ(一) インターナショナル・スタディーズ(二)		共通演習 情報基礎(二) キャリアデザイン ビジネスマナー	
	外国語科目	英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四)		英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四)		英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四)	
	実用英語	英語リーディング(一) 英語リーディング(二)		英会話(一) 英会話(二)		英語プレゼンテーション(一) 英語プレゼンテーション(二)	
	初修外国語	中国語(一) 中国語(二)					
専門教育科目	学科基礎・専門共通	農学原論 農業実習(一) 基礎演習 農業実習(二) 数学 化学	生命倫理 文化人類学 現代社会の諸問題 生化学 環境科学 経済入門	農学原論 農業実習(一) 基礎演習 生命倫理 文化人類学 日本国憲法	農業実習(二) 数学 物理学 環境科学 知的財産論 現代社会の諸問題	農学原論 農業実習(一) 基礎演習 科学と哲学 国際問題を考える 動植物園論	農業実習(二) 生物学 化学 文化人類学 現代社会の諸問題 心理学概論
	創生型			農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二)			
	専門基礎	生物資源保全学(一) 生物資源保全学(二) 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学	生物資源利用学(一) 植物病理学 生物学実験 生物資源利用学(二) 遺伝資源利用学	生物資源保全学(一) 生物資源利用学(一) 植物病理学 生物資源利用学(二) 遺伝資源利用学 生物学実験	生物資源保全学(二) 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学	生物資源保全学(二) 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学 遺伝資源利用学	生物資源利用学(二) 化学実験 生物資源利用学(一) 生物資源保全学(一) 土壌学 生物学実験
	専門コア	植物育成管理学 機器分析学	植物育種学 生命工学	野生動物生態学 生物多様性と分類	生物情報利用学	植物育成管理学 野生動物生態学 機器分析学 生命工学	生物多様性と分類 植物育種学 生物情報利用学
	学際領域	農業と生物多様性管理 植物生長調節論 分子生物学 農産物マーケティング論	植物栄養学 農業経営学 生命科学 植物防疫論	農業経営学 生命科学 自然環境保全論 自然再生技術論	農業と生物多様性管理 農産物マーケティング論 里山学 植物防疫論	動物管理学 自然環境保全論 植物生理生態学 里山学	農業と生物多様性管理 進化生物学 植物昆虫関係学 分子生物学
	総合化	分野別実験(一) 分野別実験(二) 分野別演習(三) 分野別演習(四)	分野別演習(一) 分野別演習(二) 卒業論文	分野別実験(一) 分野別実験(二) 分野別演習(三) 分野別演習(四)	分野別演習(一) 分野別演習(二) 卒業論文	分野別実験(一) 分野別実験(二) 卒業論文	分野別演習(一) 分野別演習(二) 分野別演習(三) 分野別演習(四)

## 農学部 デザイン農学科 履修モデル

科目区分	食品製造業、機能性製品(医薬・化粧品等)製造業		高齢者福祉事業、障害者福祉事業、農園芸関連事業、ペット関連事業		サイエンスコミュニケーター、企業広報渉外関係、マスコミ・出版関係		
総合教育科目	全学共通	フレッシュマンセミナー	共通演習	フレッシュマンセミナー	共通演習	フレッシュマンセミナー	共通演習
		情報基礎(一)	情報基礎(二)	情報基礎(一)	情報基礎(二)	情報基礎(一)	情報基礎(二)
外国語科目	基盤英語	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(二)	国際ナショナル・スタディーズ(一)	国際ナショナル・スタディーズ(二)
		特別講義(一)	キャリアデザイン	特別講義(一)		特別講義(一)	キャリアデザイン
	特別講義(二)	ビジネスマナー			特別講義(二)	ビジネスマナー	
	特別講義(三)						
実用英語	英語(一)		英語(一)		英語(一)		
	英語(二)		英語(二)		英語(二)		
	英語(三)		英語(三)		英語(三)		
初修外国語	英語(四)		英語(四)		英語(四)		
	英語プレゼンテーション(一)	科学英語(一)			英語リーディング(一)	英語リーディング(二)	
専門教育科目	学科基礎・専門共通	英語プレゼンテーション(二)	科学英語(二)			科学英語(一)	科学英語(二)
	創生型					中国語(一)	中国語(二)
		農学原論	農業実習(二)	農学原論	農業実習(二)	農学原論	農業実習(二)
		農業実習(一)	生物学	農業実習(一)	生物学	農業実習(一)	生物学
		科学と哲学	生命倫理	芸術	生命倫理	科学と哲学	生命倫理
経済入門	現代社会の諸問題	地学	現代社会の諸問題	数学	経済入門		
知的財産論	環境科学	生化学	動植物園論	知的財産論	環境科学		
基礎演習	化学	環境科学	日本国憲法	基礎演習	国際関係を考える		
専門基礎			基礎演習	心理学概論			
	デザイン農学概論	畜産物利用論	バイオテクノロジー論	畜産物利用論	畜産物利用論	デザイン農学専攻別実験実習・演習	
	バイオテクノロジー論	農産物利用論	サステナビリティ農学	農産物利用論	農産物利用論	実験計画法	
	サステナビリティ農学	生活デザイン農学	デザイン農学専攻別実験実習・演習	生活デザイン農学	生活デザイン農学	社会デザイン農学	
	デザイン農学専攻別実験実習・演習	デザイン農学基礎実験実習・演習	実験計画法	デザイン農学基礎実験実習・演習	デザイン農学基礎実験実習・演習	バイオテクノロジー論	
	実験計画法	食品化学	社会デザイン農学	食品化学	食品化学	サステナビリティ農学	
社会デザイン農学	食品分析学	活用動物飼育学	デザイン農学概論	デザイン農学概論	食品分析学		
専門コア			食品分析学	デザイン農学栽培入門			
	生物介在療法学	農福医連携デザイン農学	生物介在療法学	食品機能学	バイオミクリー論	食品機能学	
	サイエンスコミュニケーション論	バイオミクリー論	サイエンスコミュニケーション論	食品微生物学	ESD 概論	食品微生物学	
学際領域	栄養調理学	食品機能学	ESD 概論	生き物活用法	農福医連携デザイン農学	生き物活用法	
	食品管理学	食品微生物学	農福医連携デザイン農学		生物介在療法学	サイエンスコミュニケーション論	
総合化	農業経営学	農産物マーケティング論	動物管理学	植物栄養学	生命科学		
	生命科学	分子生物学	農業経営学	農産物マーケティング論	分子生物学		
卒業論文			自然再生技術論	植物防疫論			
	専攻基礎実験実習・演習(一)	専攻応用実験実習・演習(一)	専攻基礎実験実習・演習(一)	専攻応用実験実習・演習(一)	専攻基礎実験実習・演習(一)	専攻応用実験実習・演習(一)	
	専攻基礎実験実習・演習(二)	専攻応用実験実習・演習(二)	専攻基礎実験実習・演習(二)	専攻応用実験実習・演習(二)	専攻基礎実験実習・演習(二)	専攻応用実験実習・演習(二)	
	卒業論文		卒業論文		卒業論文		

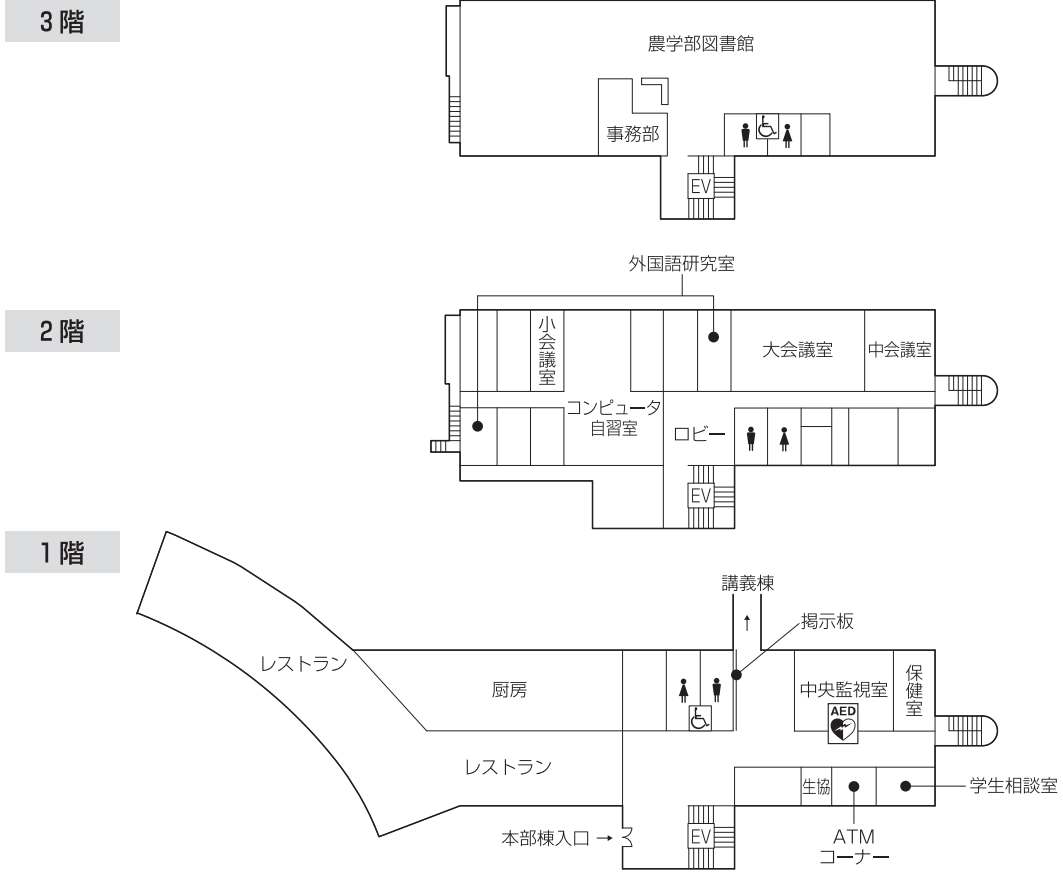
## 9 教室 実験・実習・演習室短縮名称

教室の短縮表記は、学生ポータルで掲示する時間割や、web シラバスなどで使用場合があります。次ページ以降の教室配当図も併せて確認し、限られた時間内で教室移動が出来るようにしましょう。

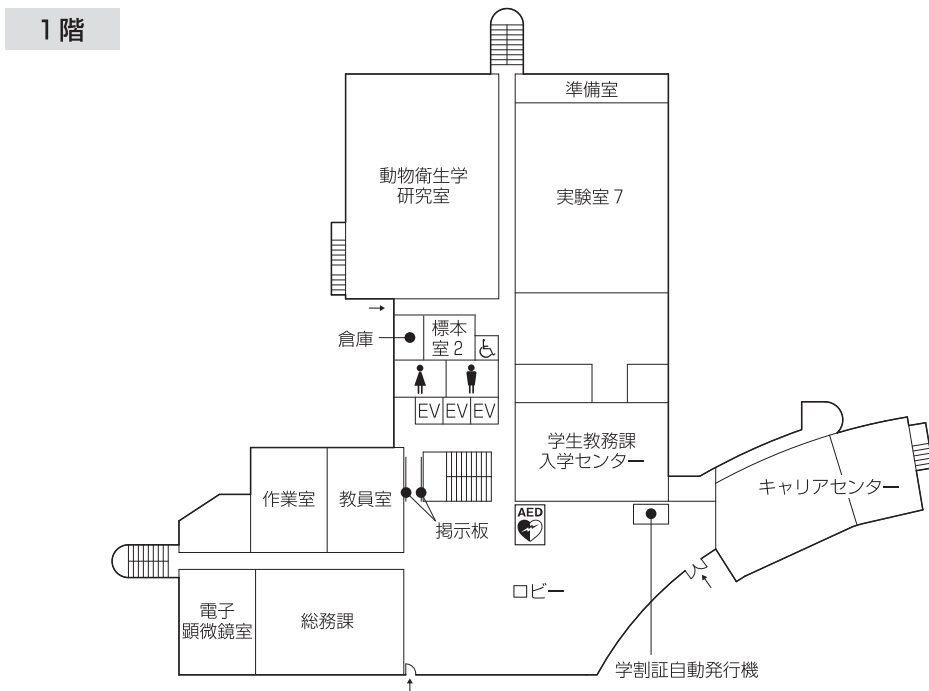
建屋	階数	名 称	短縮名称	
講義棟	1 階	1101 教室	1101	
		1102 教室	1102	
		1103 教室	1103	
		1104 教室	1104	
	M2 階	トリニティーホール	トリニティー	
	2 階	1200 教室	1200	
		1201 教室	1201	
		1202 教室	1202	
		1203 教室	1203	
		1204 教室	1204	
		1205 教室	1205	
	3 階	1301 教室	1301	
		1302 教室	1302	
		1303 教室	1303	
		1304 教室	1304	
		1305 教室	1305	
		1306 教室	1306	
1307 教室		1307		
第 2 講義棟	2 階	2201 コンピュータ 演習室	コンピ演習室	
		2202 教室	2202	
	3 階	2301 教室	2301	
		2302 教室	2302	
		2303 教室	2303	
	実験実習棟	1 階	農産加工実習室	—
			乳加工実習室	—
			肉加工実習室	—
		2 階	実験室 3	実験室 3
			実験室 4	実験室 4
実験室 5			実験室 5	
実験室 6			実験室 6	
3 階		実験室 1	実験室 1	
		実験室 2	実験室 2	
研 究 棟		1 階	実験室 7	実験室 7

# 10 厚木キャンパス教室配置図 講義棟

## 本部棟

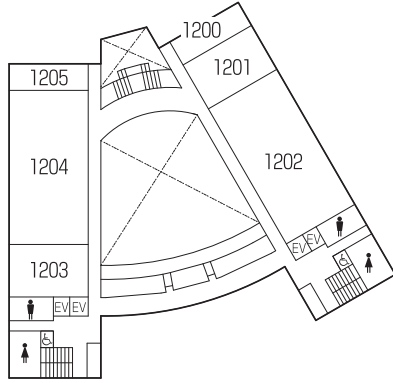


## 研究棟

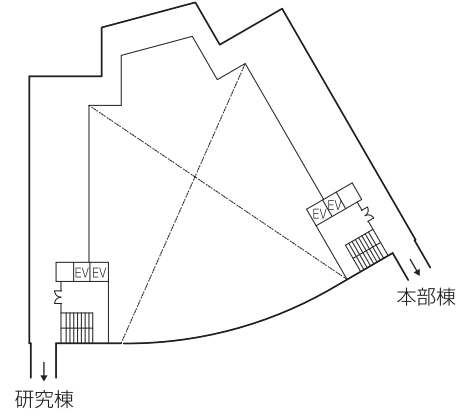


講義棟 (教室)

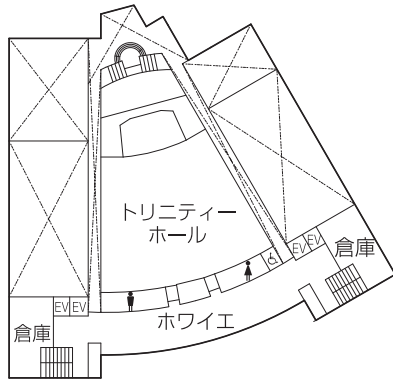
2階



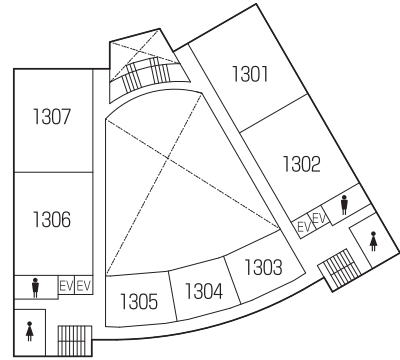
R階



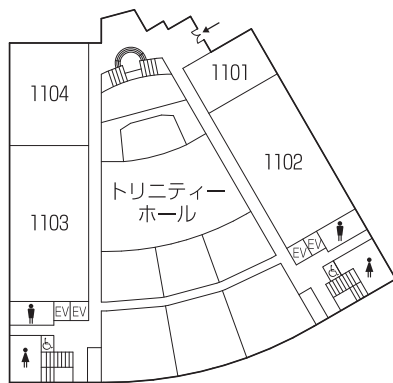
M2階



3階

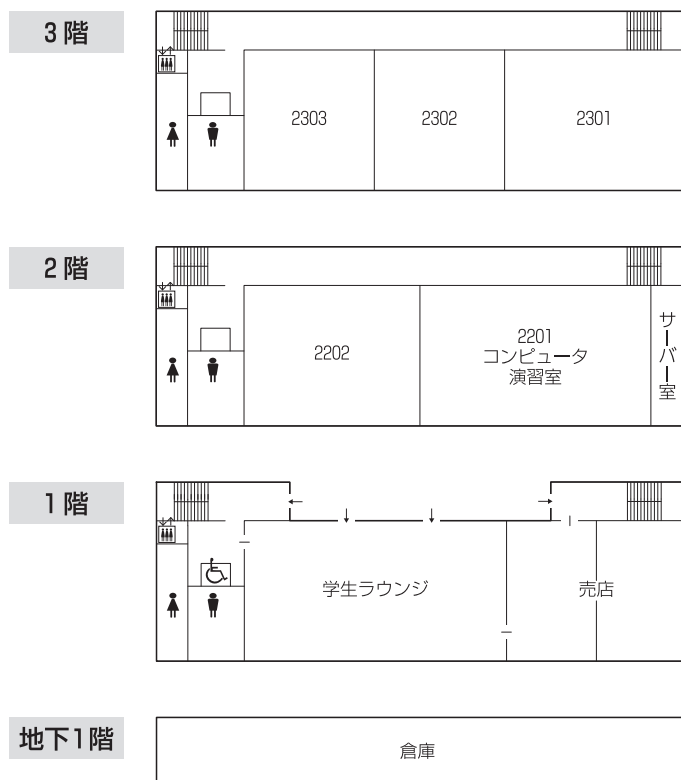


1階

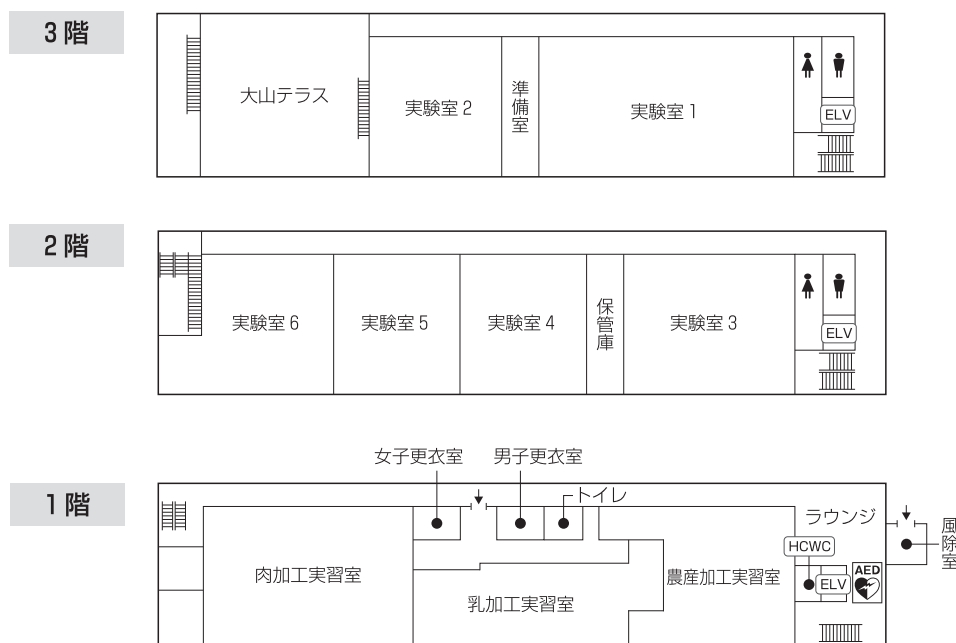


# 11 厚木キャンパス教室配置図 第2講義棟・実験実習棟

## 第2講義棟



## 実験実習棟



※実験室7は研究棟1階

